

CZGeTZ Gazer操作手順書

2026 年 09 月 15 日



株式会社 WDJ ハイテク

(1.00 版)

Copyright © 2026 WDJ Hi-Tech Inc. All Rights Reserved.

文書番号: WDJ-Tec-MAN-059

— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2026/09/15	新規			新規作成

1. はじめに	4
1.1. CZGeTZ Gazer	4
1.2. ファイル入出力について	4
2. インストール	5
2.1. インストール	5
2.2. アプリケーション終了	8
3. メニュー	9
3.1. メニュー説明	9
4. システム設定	10
4.1. 説明	10
4.2. 基本設定	11
4.3. モニタリング設定	12
4.4. デバイスの設定	12
4.5. イベント設定	13
4.6. ファイルパス	13
4.7. バックアップと復元	14
4.8. メール設定	15
4.9. 補足:起動時に前回終了時の画面を表示	15
5. デバイスマネージャ	16
5.1. デバイスマネージャ表示(共通)	16
5.2. デバイス追加	16
5.3. デバイス削除	24
5.4. デバイス情報インポート / エクスポート	25
5.5. デバイス情報変更	27
5.6. ログイン	28
5.7. ログアウト	29
5.8. Web 設定	30
6. ライブビュー	31
6.1. ライブビュー表示	31
6.2. ツアー / ビュー	36
6.3. E-MAP	42
7. 再生	49
7.1. 録画再生	49
7.2. スマート検索	56
7.3. 同期再生	57
7.4. 録画データエクスポート	58
8. イベント設定	60
8.1. 設定	60
8.2. イベント連携	65
8.3. イベントセンター	67
9. アカウント	69
9.1. メニュー表示	69
9.2. ロール追加	69
9.3. ユーザー追加	71
9.4. ロール、ユーザーの編集	73
9.5. ユーザーと役割の削除	74
10. ユーザー切り替え	75
10.1. ユーザー切り替え	75
11. ログ	76
11.1. ログ表示	76
11.2. デバイスログ表示	78
11.3. 共通:ログ出力	79
12. マニュアル	80
12.1. マニュアル	80
13. その他操作	81
13.1. パスワードリセット	81

1. はじめに

1.1. CZGeTZ Gazer

本手順書は V1.003.1EDB000.0 を元に作成しています。

1.1.1. ダウンロード

下記 URL より、CZGeTZ Gazer をダウンロードしてください。

<https://wdj-hi-tech.com/czgetz/download/>

1.2. ファイル入出力について

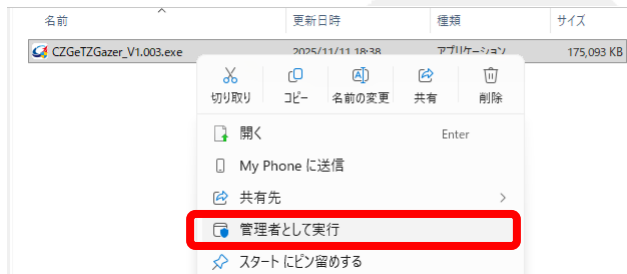
設定ファイルや録画データ等のエクスポート、設定ファイル等のインポートの実行時は、日本語が含まれると処理に失敗する場合があります。日本語を含んだパスを指定しないように注意が必要です。

2. インストール

2.1. インストール

2.1.1. インストール①

ダウンロードしたインストーラーを右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。

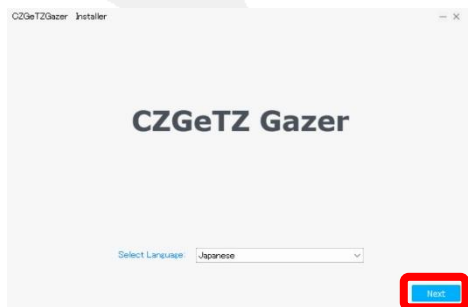


2.1.2. インストール②

ユーザーアカウント制御画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

2.1.3. インストール③

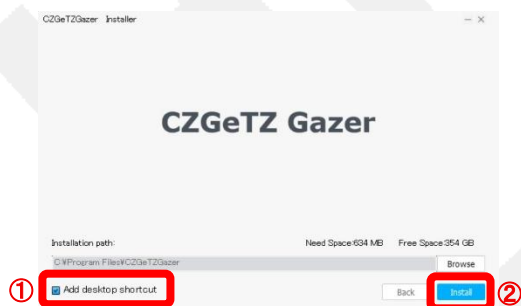
「Next」をクリックします。



2.1.4. インストール④

① 「Add Desktop shortcut」にチェックを入れます。

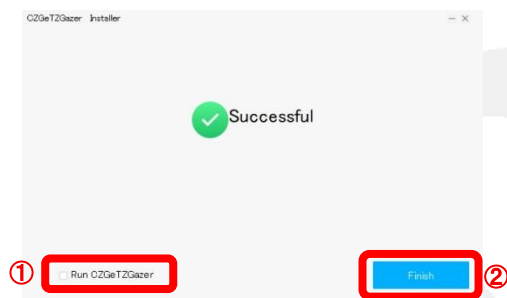
② 「Install」をクリックします。



2.1.5. インストール⑤

インストールが終了すると以下の画面が表示されます。

- ①「Run CZGeTZ Gazer」にチェックを入れます。
- ②「Finish」をクリックします。



2.1.6. 初期設定①

以下の画面が表示されるので、パスワードを設定します。

- ①管理者用の「パスワード」と「確認」を入力します。
- ②「登録後、自動ログイン」にチェックを入れます。
- ③「次へ」をクリックします。



- ※1. パスワードは8～32文字で構成し、大文字 / 小文字 / 数字 / 特殊文字(「'";:&」を除く)から、少なくとも2種類の文字を含む必要があります。(使用する文字列によっては8文字で設定できない場合あり)
- ※2. 「登録後、自動ログイン」をチェックすると、以後はログイン画面が表示されなくなります。
- ※3. 管理者パスワードは推測しにくい物を設定し、忘れないようにメモを取ることを推奨します。

2.1.7. 初期設定②

以下の画面が表示されるので、セキュリティ質問を設定します。

- ①問題1～問題3の問題と答えを設定します。
- ②「終了」をクリックします。



※セキュリティ質問は管理者パスワードの回復に使用します。忘れないようにメモを取ることを推奨します。

2.1.8. CZGeTZ Gazer 起動

初期設定が終了すると、アプリケーションが起動します。



2.2. アプリケーション終了

2.2.1. アプリケーション終了 1

右上の「×」をクリックします。



2.2.2. アプリケーション終了 1-①

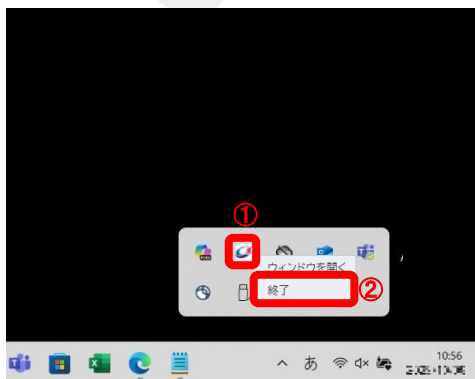
- ①「プログラムを終了」「今後表示しない」をチェックします。
- ②「OK」をクリックします。



※以降、「×」ボタンをクリックするとアプリケーションが終了します。

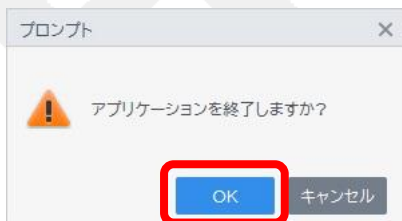
2.2.3. アプリケーション終了 2

- ①タスクバーの C2GeTZ Gazer のアイコンを右クリックします。
- ②「終了」をクリックします。



2.2.4. アプリケーション終了 3

「OK」をクリックすると、アプリケーションが終了します。



3. メニュー

3.1. メニュー説明

3.1.1. メニュー説明



※メニューに表示されているボタンをクリックすると、最上段に機能タブが追加されます。

①基本機能

アイコン	名称	機能
	ライブビュー	登録したデバイスの映像を表示します。
	再生	登録したデバイスの録画映像を再生します。
	システム	システム設定を行う画面を表示します。

②デバイス管理

アイコン	名称	機能
	デバイスマネージャ	デバイスの登録削除、接続処理を行います。
	ログ	アプリケーションやデバイスのログを表示します。
	イベント設定	アラーム連動アクションを設定します。

③ソフトウェア管理

アイコン	名称	機能
	アカウント	アカウント設定画面を表示します。
	ユーザー切り替え	ログイン画面を表示し、ユーザー切り替えを行います。
	ヘルプマニュアル	マニュアル(PDF)を表示します。

④

アイコン	名称	機能
	イベントセンター	イベントの表示および処理をします。
	製品について	バージョンと日付を表示します。

4. システム設定

4.1. 説明

アプリケーション自身の設定を行う、基本設定について記載します。

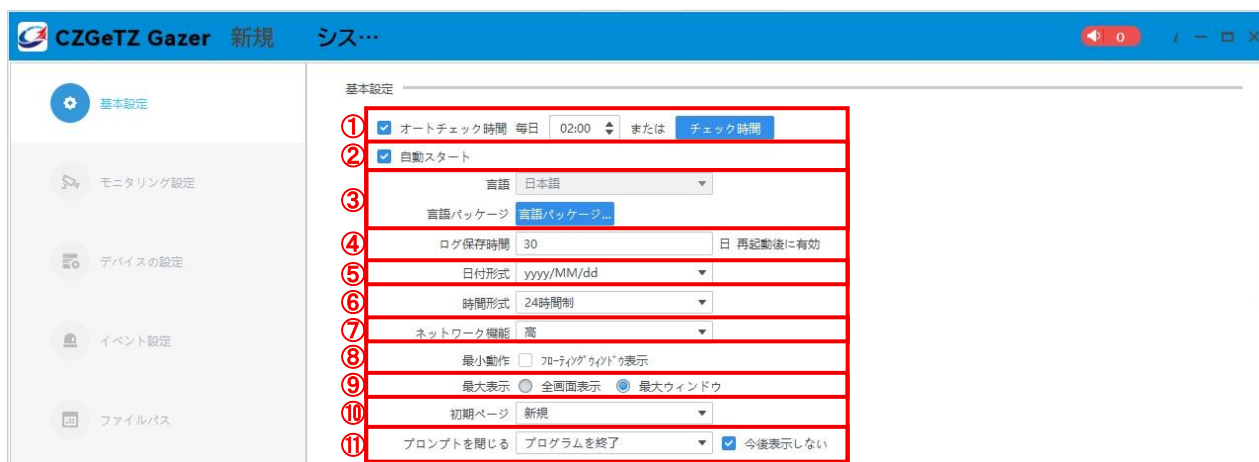
4.1.1. メニュー表示

「システム」をクリックします。



4.2. 基本設定

4.2.1. メニュー説明



名称	機能
①オートチェック時間	チェックすると、指定した毎日の時刻に登録デバイスにPCの時刻を同期します。
②自動スタート	チェックすると、PCにログインした時に自動的にアプリケーションを起動します。
③言語	表示する言語を設定します。
④ログ保存時間	ログの保存期間(日数)を設定します。
⑤日付形式	日付の表示形式を設定します。
⑥時間形式	時間の表示形式を設定します。
⑦ネットワーク機能	アプリケーションのネットワークパフォーマンスを選択します。 状態が安定している場合は「高」を選択します。
⑧最小動作	チェックすると、アプリケーションを最小化した時にアイコンを表示します。
⑨最大表示	アプリケーションの表示サイズを設定します。 全画面表示 : タスクバーを隠す全画面にします。 最大ウィンドウ : タスクバーを表示した全画面にします。
⑩初期ページ	起動後に開かれるタブを選択します。 新規 : メインメニューを表示します。 最後のページを復元 : 最後に表示した画面を表示します。 4.8. 参照してください。
⑪プロンプトを閉じる	右上の「×」をクリックした時の動作を設定します。 システムトレイ・・・ : アプリケーションを最小化します。 プログラムを終了 : プログラム終了するかを選択します。

4.3. モニタリング設定

4.3.1. メニュー説明



名称	機能
①デフォルトのストリームタイプ	ライブ映像画面で使用するストリームを選択します。 自適応ストリーム：自動的にストリームを選択します。 メインストリーム：メインストリームのみ使用します。 サブストリーム：サブストリームのみ使用します。
②ローカル記録時間	PCでの録画時間を設定します。 ※30分に設定した場合、録画30分経過後にPCへファイル保存を行います。
③デフォルトのデバイスツリー	デバイスの表示方法を設定します。 デバイスツリー(デバイスごと)：デバイスをツリーとして表示します。 領域ツリー(チャンネルごと)：チャンネルをツリーとして表示します。
④デコードタイプ	映像のデコード方法を選択します。 ソフトデコーディング：CPUを使用してデコードします。 ハードウェアデコーディング：グラフィックカードでデコードします。
⑤最後のプレビューを再開	アプリケーション起動時に、前回起動時の最後に表示したビューを表示します。
⑥AI境界検知ルールの表示	AI境界検知ルールを画面上に表示します。
⑦デバイスツリーの選択の保存	選択したデバイスツリーを記憶します。

4.4. デバイスの設定

4.4.1. メニュー説明



名称	機能
①デバイス自動ログイン	チェックすると、アプリケーション起動時に登録したデバイスへ自動的にログインを行い、オンラインにします。

4.5. イベント設定

4.5.1. メニュー説明

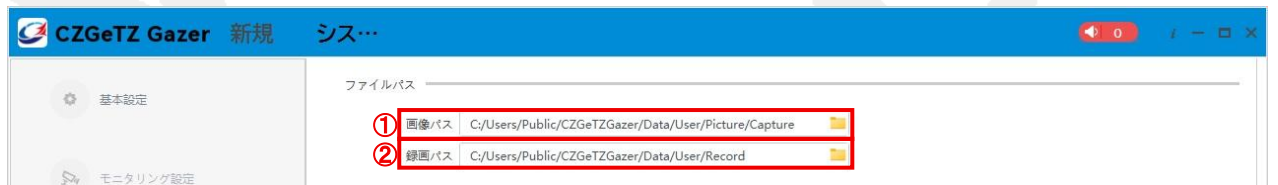


名称	機能
①繰り返す	チェックすると、イベントが発生するとアラーム音が繰り返して再生します。
②グローバル WAV	イベント発生時に再生する WAV ファイルを設定します。 チェックする : 全てのイベントで同じ WAV ファイルが再生されます。 チェックしない : 個別のイベント毎に再生する WAV ファイルを設定できます。

4.6. ファイルパス

4.6.1. メニュー説明

アプリケーションで保存した画像や映像を保存するパスを設定します。



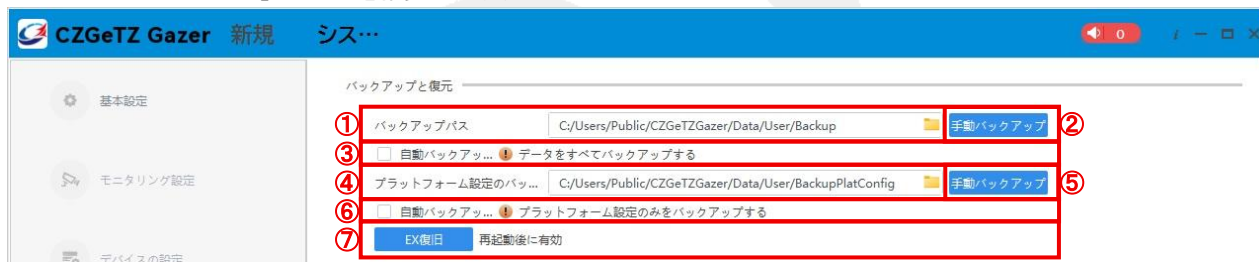
名称	機能
①画像パス	画像を保存するパスです。デフォルトは以下のパスが設定されています。 C:/Users/Public/CZGeTZGazer/Data/User/Picture/Capture
②録画パス	録画データを保存するパスです。デフォルトは以下のパスが設定されています。 C:/Users/Public/CZGeTZGazer/Data/User/Record

4.7. バックアップと復元

4.7.1. メニュー説明

アプリケーションのバックアップと復元を行います。

「バックアップ」と「プラットフォームバックアップ」の2種がありますが、すべてのデータバックアップに対応している「バックアップ」の利用を推奨します。



名称	機能
①バックアップパス	バックアップファイル(設定含む)を保存するパスです。フォルダ型ボタンをクリックするとパスの変更ができます。デフォルトのパスは以下の通りです。 C:/Users/Public/CZGeTZGazer/Data/User/Backup
②手動バックアップ	ボタンをクリックすると、バックアップファイル(設定含む)を保存するパスを指定し、バックアップを行います。
③自動バックアップ	チェックすると、自動バックアップを行います。実行の頻度や実行時間を設定します。
④プラットフォーム設定のバックアップパス	設定ファイルを保存するパスです。フォルダ型ボタンをクリックするとパスの変更ができます。デフォルトのパスは以下の通りです。 C:/Users/Public/CZGeTZGazer/Data/User/BackupPlatConfig
⑤手動バックアップ	ボタンをクリックすると、設定ファイルを保存するパスを指定し、バックアップを行います。
⑥自動バックアップ	チェックすると、自動設定バックアップを行います。実行の頻度や実行時間を設定します。
⑦EX 復旧	バックアップファイルを指定してリストアを行います。

4.8. メール設定

4.8.1. メニュー説明



①SMTP	イベント発生時にメール送信の有無を設定します。8.1.4. イベント連携②でアプリケーションからメール送信を行う場合は、この設定が必須となります。 チェックする : SMTP 情報を設定する事でイベント発生時にメールを送信します。 チェックしない : メールを送信しません。
-------	---

■SMTP を有効にした場合



名称	機能
①SMTP サーバー	SMTP サーバーのホスト名/IP アドレス。
②ポート	SMTP サーバーのポート番号。
③ユーザー名	アカウント。
④パスワード	パスワード。
⑤送信元アドレス	送信元メールアドレス。
⑥受信アドレス	受信先メールアドレス。最大 5 つまで登録可能です。
⑦暗号化モード	メールの暗号化を設定します。 なし : 暗号化なし SSL : SSL でメールを暗号化する TLS : TLS でメールを暗号化する
⑧送信間隔	設定した間隔でメールを送信します。
⑨テスト	クリックするとテストメールを送信します。

4.9. 補足：起動時に前回終了時の画面を表示

4.9.1. 機能説明

前回起動時に終了した時に表示していた画面を、次回起動時に表示させる事ができます。
複数の機能を設定する必要があります。

メニュー1	メニュー2	機能
基本設定	初期ページ	「最後のページを復元」を選択します。
モニタリング設定	最後のプレビューを再開	チェックを入れます。
デバイスの設定	デバイス自動ログイン	チェックを入れます。

5. デバイスマネージャ

デバイスの登録 / 変更 / 削除を行います。

5.1. デバイスマネージャ表示(共通)

ネットワーク内のデバイスを、アプリケーションへ登録する手順を記載します。
メインメニューから、「デバイスマネージャ」をクリックします。

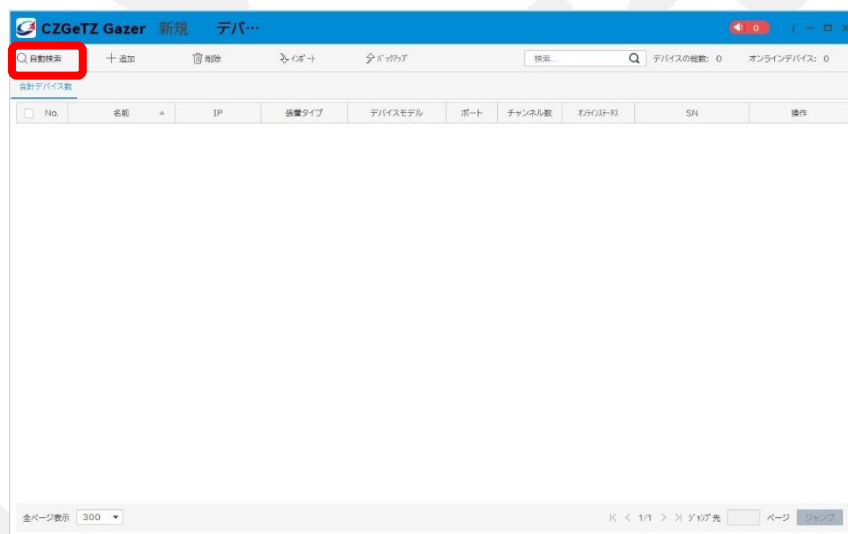


5.2. デバイス追加

5.2.1. デバイス追加(自動検索)

5.2.1.1. 自動検索

以下の画面が表示されるので、「自動検索」をクリックします。



5.2.1.2. デバイス登録①

自動検索画面が表示され、ネットワークのデバイスが検索・表示されます。

①登録したいデバイスの「No.」にチェックを入れます。

②「追加」をクリックします。

No.	IP	デバイスモデル	MACアドレス	ポート	初期化ステータス
1	192.168.1.1	ASUS	00:0C:29:00:00:00	37777	初期化しました
2	192.168.1.2	ASUS	00:0C:29:00:00:00	37777	初期化しました
3	192.168.1.3	ASUS	00:0C:29:00:00:00	37777	初期化しました
4	192.168.1.4	ASUS	00:0C:29:00:00:00	37777	初期化しました

※デバイスセグメントに違うセグメントを設定し「検索」をクリックすると、指定したセグメントを検索できます。

5.2.1.3. デバイス登録②

以下の画面が表示されます。

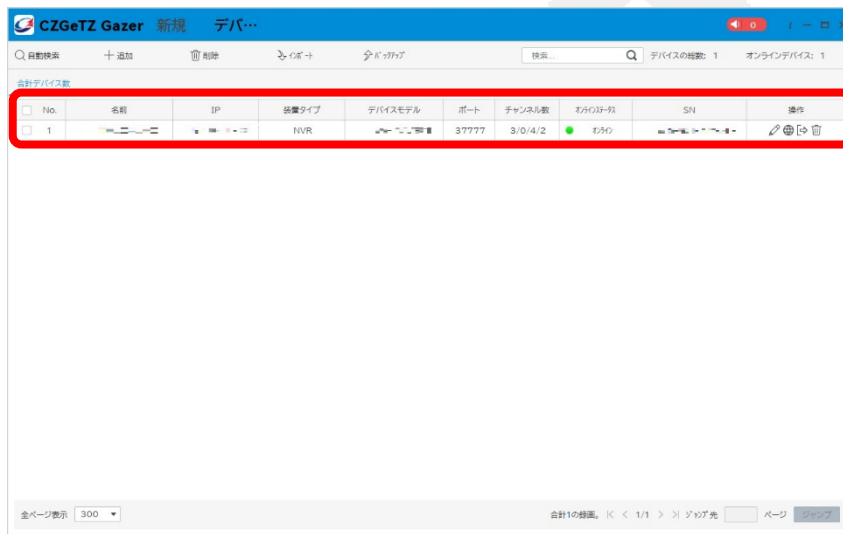
①デバイスの管理者権限ユーザーとそのパスワードを入力します。

②「OK」をクリックします。

フィールド	内容
ユーザー名	*
パスワード	* (目隠しアイコン)

5.2.1.4. デバイス登録③

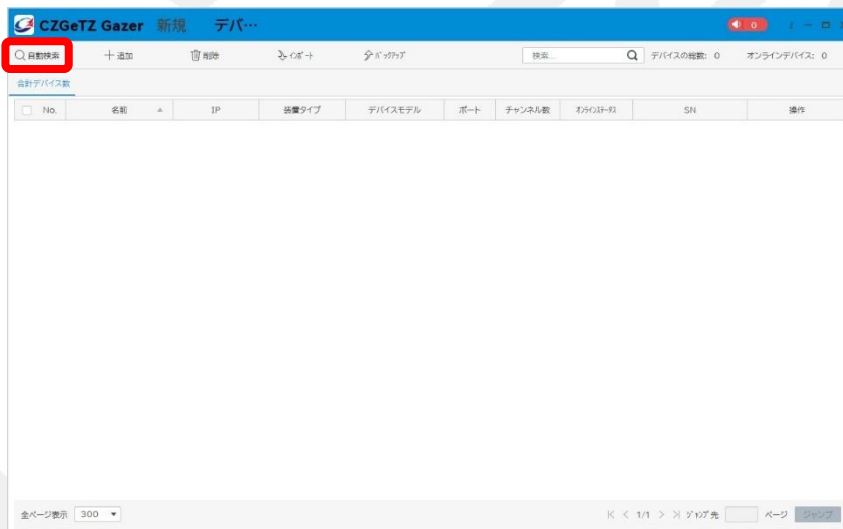
指定したデバイスが一覧に追加されます。



5.2.2. デバイス追加 (IP アドレス変更)

5.2.2.1. 自動検索

以下の画面が表示されるので、「自動検索」をクリックします。



5.2.2.2. IP アドレス変更①

自動検索画面が表示され、ネットワークのデバイスが検索・表示されます。

①IP アドレスを変更したいデバイスの「No.」にチェックを入れます。

②「IP アドレスの変更」をクリックします。

No.	IP	デバイスモデル	MACアドレス	ポート	初期化ステータス
☒ 1	192.168.1.1	ルーター	00:00:00:00:00:00	37777	初期化しました
☒ 2	192.168.1.2	ルーター	00:00:00:00:00:00	37777	初期化しました
☐ 3	192.168.1.3	ルーター	00:00:00:00:00:00	37777	初期化しました
☐ 4	192.168.1.4	ルーター	00:00:00:00:00:00	37777	初期化しました

※デバイスセグメントに違うセグメントを設定し「検索」をクリックすると、指定したセグメントを検索できます。

5.2.2.3. IP アドレス変更②

①変更したい IP アドレスの情報を入力します。

②「OK」をクリックします。

新IP: *

サブネットマスク: *

ゲートウェイ: *

OK キャンセル

5.2.2.4. IP アドレス変更③

①変更するデバイスのユーザー名・パスワードを入力します。

②「OK」をクリックします。

ユーザー名: *

パスワード: *

OK キャンセル

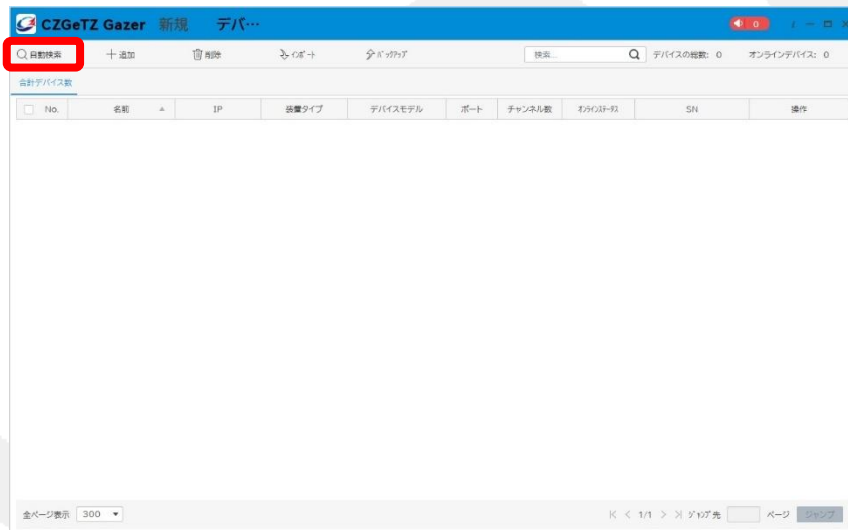
※正しいユーザー名・パスワード情報を入力しないと、IP アドレス変更に失敗します。

5.2.3. デバイス追加(デバイス初期設定)

PC と同じセグメントにあるデバイスのみ、デバイスの初期設定が可能です。

5.2.3.1. 自動検索

以下の画面が表示されるので、「自動検索」をクリックします。

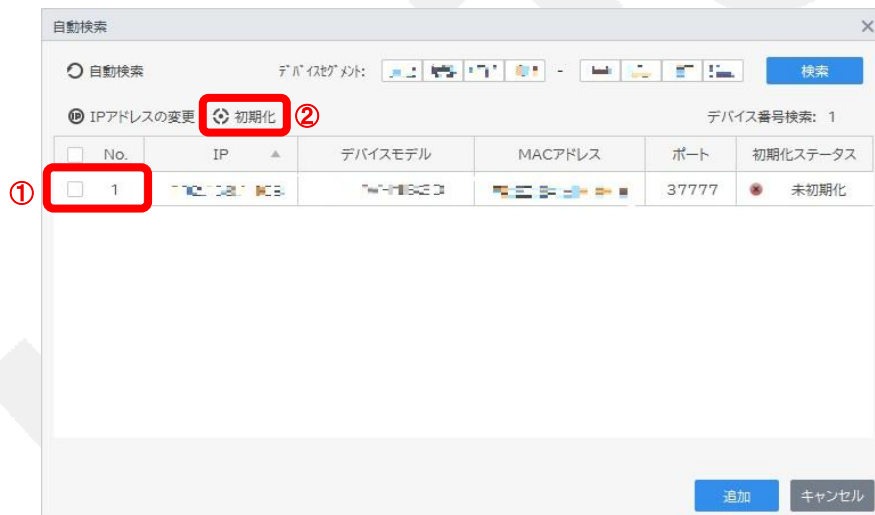


5.2.3.2. デバイス初期設定①

自動検索画面で、「未初期化」の機器が表示されます。

① 「No.」にチェックを入れます。

② 「初期化」をクリックします。



5. 2. 3. 3. デバイス初期設定②

- ① デバイスに設定するパスワードを、「パスワード」「確認」に入力します。
- ② 「パスワードセキュリティ」をクリックします。

The screenshot shows a window titled "1. パスワードを設定します。2. パスワードのセキュリティ3. デバイスのIPアドレスを..." with a close button (X) in the top right. The main area has a label "ユーザー名: admin" above two password input fields labeled "パスワード:" and "確認:". A red circle with the number 1 is next to the first password field. Below the fields is a note: "パスワードは8~32文字以上でなければなりません。OK No. または 小文字 または 大文字、パスワードには、少なくとも2種類の文字が含まれている必要があります。". At the bottom right, there is a button labeled "パスワードセキュリティ" with a right arrow, which is highlighted with a red circle and the number 2, and a "キャンセル" button.

5. 2. 3. 4. デバイス初期設定③

- ① デバイス初期化に使用する、E メールアドレスを入力します。
- ② 「IP アドレスの変更」をクリックします。

The screenshot shows a window titled "1. パスワードを設定します。2. パスワードのセキュリティ3. デバイスのIPアドレスを..." with a close button (X) in the top right. The main area has a radio button labeled "メール" which is selected. Below it is a label "メールアドレスのバインド:" followed by a text input field containing "メールアドレスを入力してください.". A red circle with the number 1 is next to the input field. At the bottom, there are three buttons: "戻る", "IPアドレスの変更" with a right arrow (highlighted with a red circle and the number 2), and "キャンセル".

5.2.3.5. デバイス初期設定④

- ①デバイスの IP アドレス情報を入力します。
- ②「終了」をクリックします。

1. パスワードを設定します。 2. パスワードのセキュリティ 3. デバイスのIPアドレスを...

新IP: ①

サブネットマスク:

ゲートウェイ:

戻る ② 終了 キャンセル

5.2.3.6. デバイス初期設定④

初期化が実行され結果が「成功」である事を確認し、「OK」をクリックします。

デバイスの一括初期化

完了済み

100%

No.	デバイスシリアル番号	IP	MACアドレス	結果
1				成功 ①

OK ②

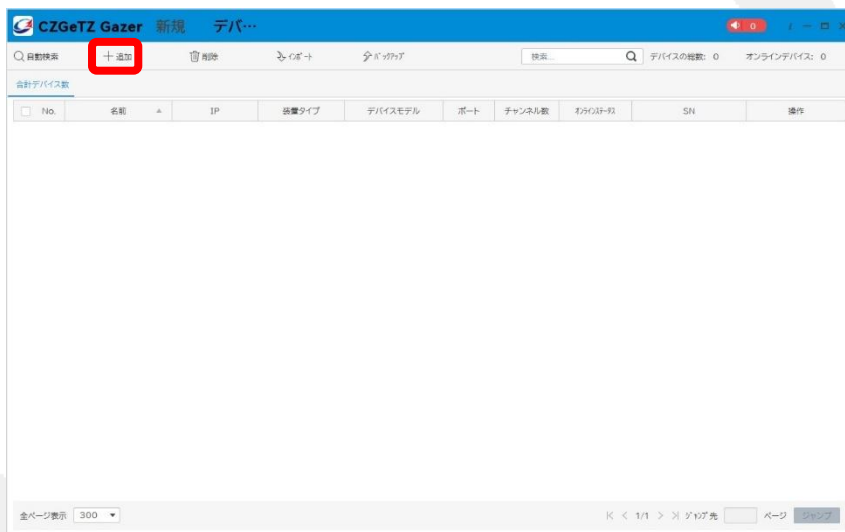
※初期設定したデバイスを追加したい場合は「5.2 デバイス追加」を参照してください。

5.2.4. デバイス追加(手動追加)

デバイスを手動で追加する手順を記載します。

5.2.4.1. デバイス手動追加①

以下の画面が表示されるので、「追加」をクリックします。



5.2.4.2. デバイス手動追加②

①必要な情報を入力します。

②「追加」をクリックし、デバイスを登録します。

①

デバイスを追加

チャンネル名: *

登録モード: IP/ドメイン

IP/ドメイン: *

ポート番号: 37777

ユーザー名: *

パスワード: *

※ ②

追加して続行 追加 キャンセル

■ IP アドレスもしくはドメイン名で設定する場合

名称	機能
チャンネル名	任意の名称
登録モード	IP/ドメイン
IP/ドメイン	デバイスの IP アドレス
ポート番号	37777 (デフォルト値)
ユーザー名	デバイスに登録されているユーザー名
パスワード	デバイスのユーザーのパスワード

■ P2P で設定する場合

名称	機能
チャンネル名	任意の名称
登録モード	SN (P2P 対応デバイス向け)
SN	デバイスのシリアル番号
ユーザー名	デバイスに登録されているユーザー名
パスワード	デバイスのユーザーのパスワード

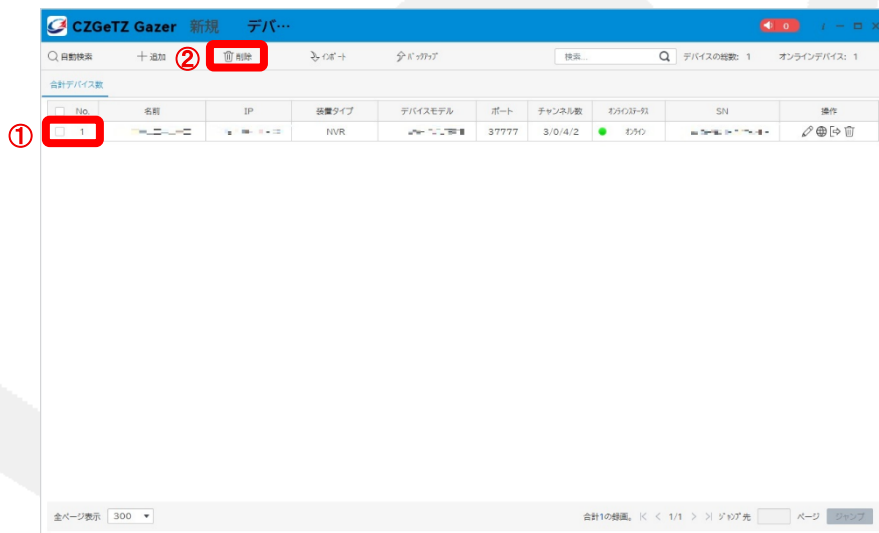
※「追加と続行」をクリックすると画面が閉じず、すぐに次のデバイスを登録できます。

5.3. デバイス削除

登録したデバイスを削除します。

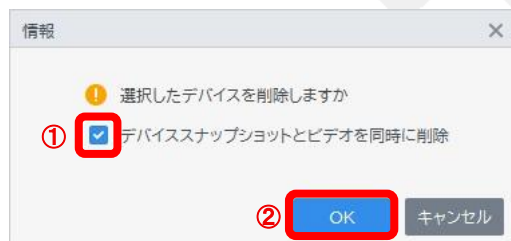
5.3.1. デバイス削除①

- ①削除したいデバイスの「No.」をチェックします。
- ②「削除」をクリックします。



5.3.2. デバイス削除②

- ①「デバイス・・・」をチェックします。
- ②「OK」をクリックするとデバイスが削除されます。



※チェックが入っていると、アプリケーション操作で取得したデータが全て削除されます。

5.4. デバイス情報インポート / エクスポート

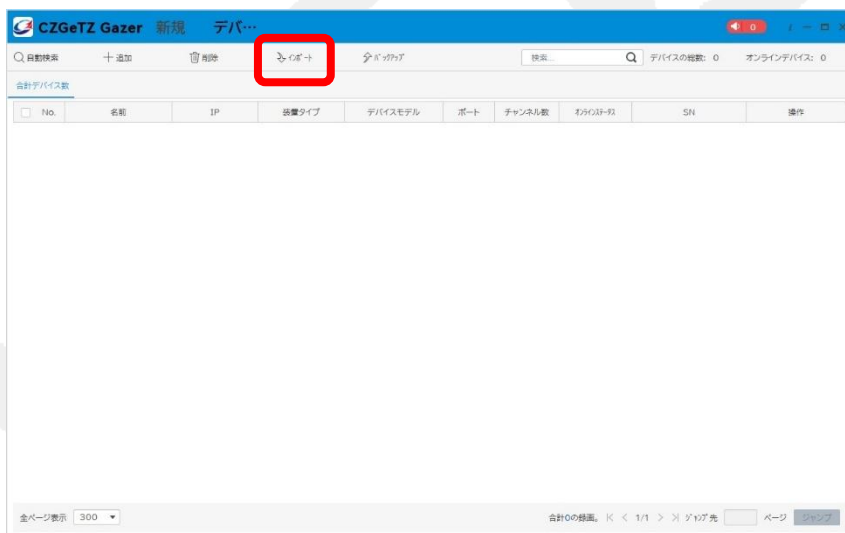
5.4.1. インポート

アプリケーションからエクスポートしたデバイス情報を登録します。

※インポートするファイルやパスに日本語が含まれると処理に失敗するので注意が必要です。

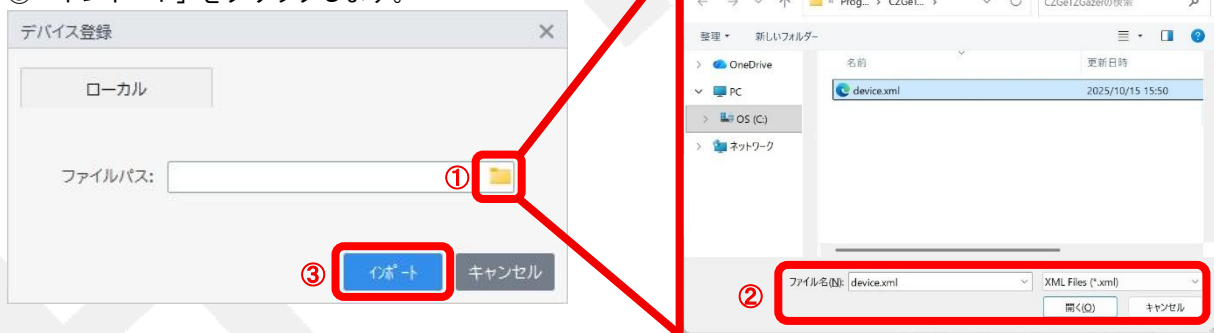
5.4.1.1. インポート①

「インポート」をクリックします。



5.4.1.2. インポート②

- ① 「📁」をクリックします。
- ② インポートするファイルを指定します。
- ③ 「インポート」をクリックします。



5.4.1.3. インポート③

インポートに成功すると、デバイスマネージャ画面にデバイスが追加されます。



5.4.2. エクスポート

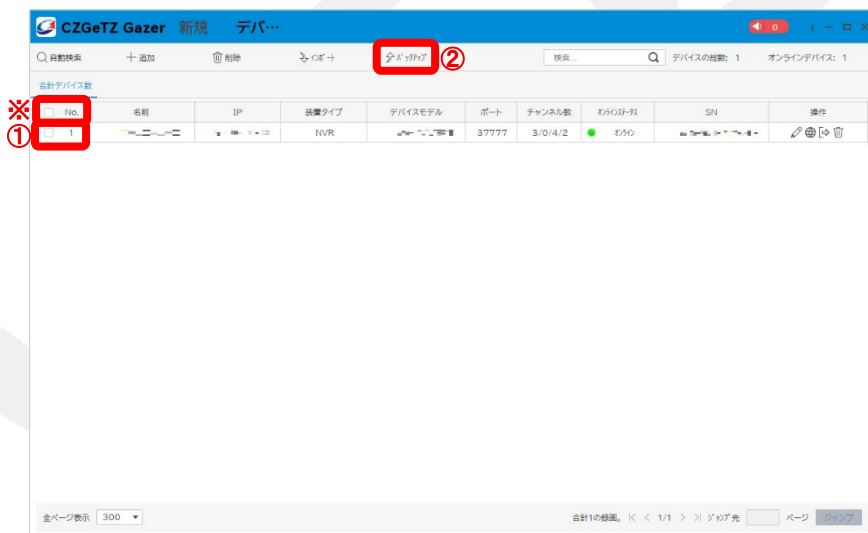
アプリケーションに登録したデバイス情報をエクスポートする手順を記載します。

※エクスポートするファイルやパスに日本語が含まれると処理に失敗するので注意が必要です。

5.4.2.1. エクスポート①

①エクスポートするデバイスにチェックを入れます。

②「バックアップ」をクリックします。



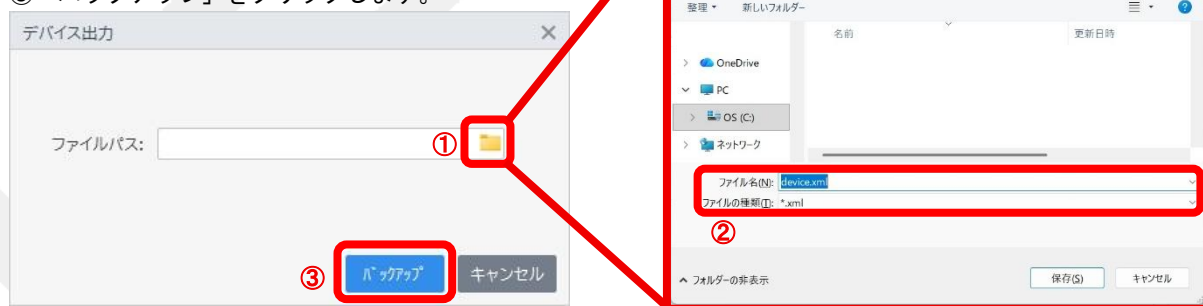
※全てのデバイスをエクスポートする場合は左上の「No.」をクリックします。

5.4.2.2. エクスポート②

①「」をクリックします。

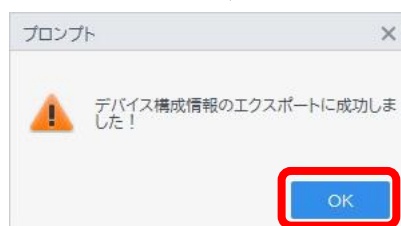
②エクスポートしたデータの保存先を指定します。

③「バックアップ」をクリックします。



5.4.2.3. エクスポート③

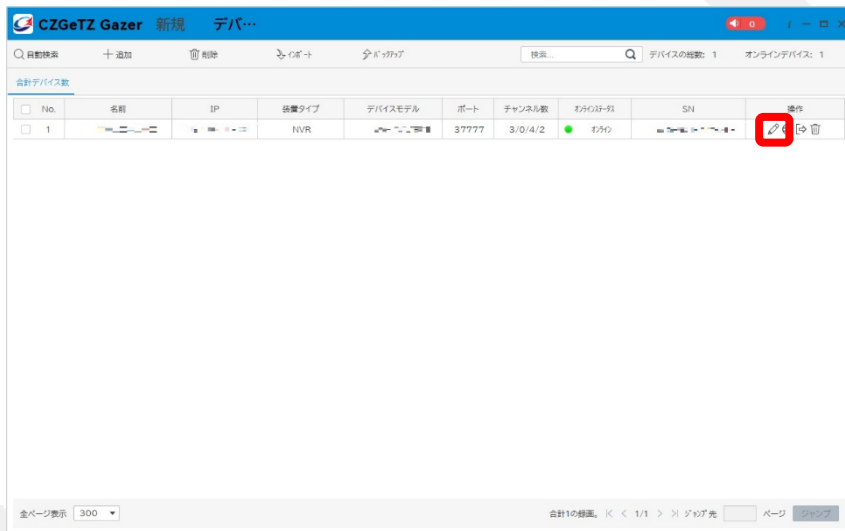
以下のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。



5.5. デバイス情報変更

5.5.1. 変更①

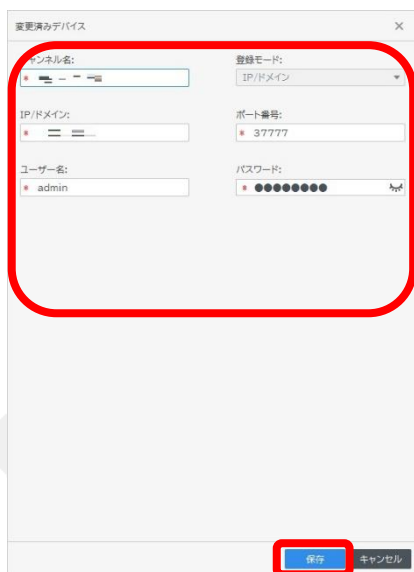
変更したいデバイスの「」をクリックします。



5.5.2. 変更②

以下の画面が表示されるので、必要な情報を修正して「保存」をクリックします。

※グレーアウトしていない項目のみ変更が可能です。



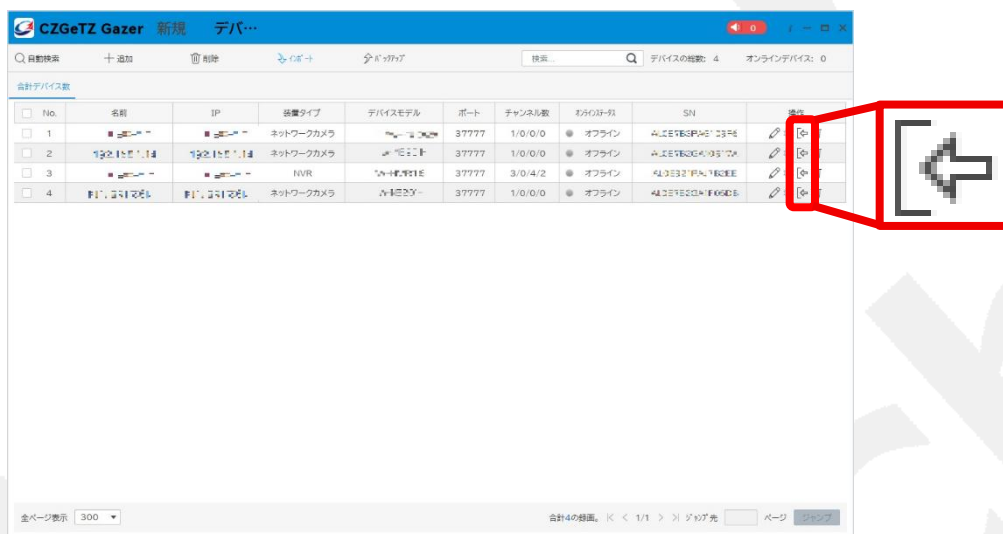
名称	機能
チャンネル名	アプリケーションで表示する名称。
IP/ドメイン	デバイスの IP アドレス、もしくは FQDN。
ポート	デバイスの TCP ポート番号。
ユーザー名	デバイスのユーザー名。
パスワード	デバイスのユーザー名が使用するパスワード。

5.6. ログイン

デバイス操作をする為にはログインが必要です。

5.6.1. ログイン操作①

映像を参照したいデバイスの「」をクリックします。



5.6.2. ログイン操作②

以下の画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



5.6.3. ログイン操作③

ログインが完了し、オンラインステータスが「オンライン」になります。



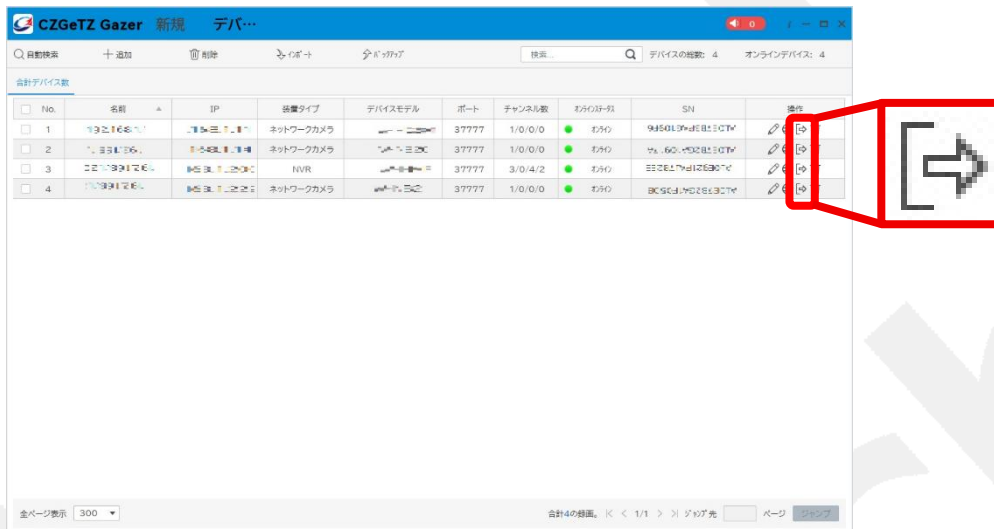
○デバイスがオンラインにならない場合、下記を確認してください。

1. IP アドレス / シリアル番号 / ユーザー名 / パスワードが正しく入力されている事。
2. PC から Web ブラウザで外部サイトを表示できる事。
3. デバイスが Internet に接続できる環境である事。

5.7. ログアウト

5.7.1. ログアウト操作①

オンライン中で、ログアウトしたいデバイスの「[⇒]」をクリックします。



5.7.2. ログアウト操作②

以下の画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



5.7.3. ログアウト操作③

ログアウトが完了し、オンラインステータスが「オフライン」になります。

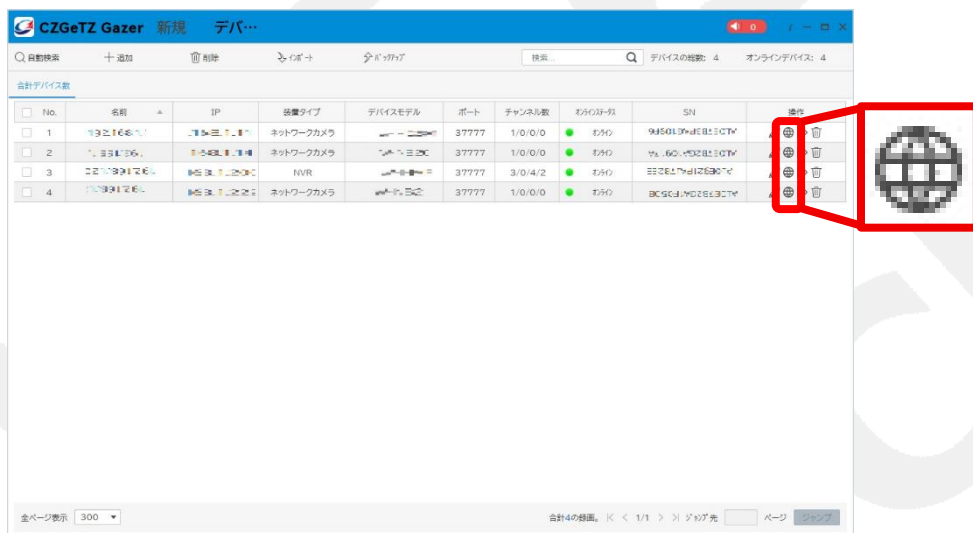


5.8. Web 設定

設定変更したいデバイスの Web 操作画面を開きます。
※このアプリケーションにはデバイス設定を変更する機能はありません。
※操作を行うには、デバイスをオンラインに設定する必要があります。
※IP アドレス/P2P からも Web ブラウザでの接続が可能です。

5.8.1. Web 設定①

変更したいデバイスの「」をクリックします。



5.8.2. Web 設定②

Web ブラウザが起動しログイン画面が表示されます。ログインすれば設定が変更可能となります。



※表示される画面はデバイス毎に異なります。

6. ライブビュー

カメラのライブ映像の操作の説明を記載します。操作にはデバイスへのログインが必須です。

6.1. ライブビュー表示

6.1.1. ライブビュー表示①

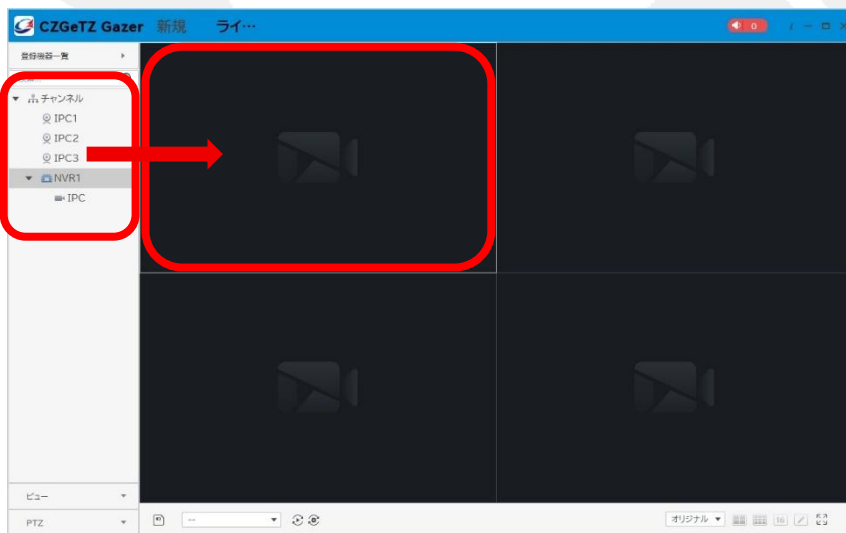
メインメニューから「ライブビュー」をクリックします。



6.1.2. ライブビュー表示②

表示したいデバイスを選択し、右側のウィンドウへドラッグ&ドロップします。

※レコーダに登録されたデバイス全てを表示する場合は、
レコーダのアイコンを右側のウィンドウへドラッグ&ドロップします。

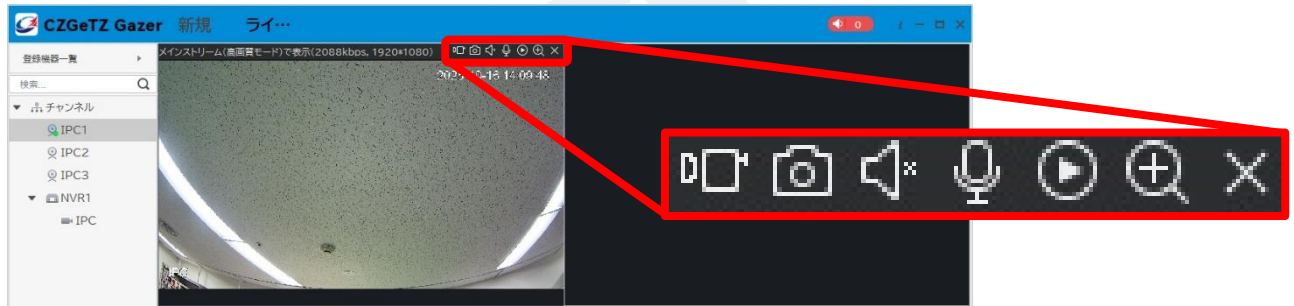


※IP カメラはリストにそのまま表示されます。

※レコーダの左の「▶」をクリックすると、レコーダ登録済カメラが表示されます。

6.1.3. ライブビュー画面アイコン

ライブビューの右上に表示されているアイコンの説明を記載します。



アイコン	名称	機能
	ローカル PC にビデオを保存する	簡易録画を行います。ボタンをクリックすると、ライブビューの録画を開始し、もう一度クリックすると録画を停止し、録画データを保存します。
	スナップショット	スナップショットを取得します。ボタンをクリックすると、表示しているライブビューの画像を保存します。
	オーディオ	表示しているカメラの音声を有効 / 無効にします。
	音声通話	表示しているカメラの音声通話を有効 / 無効にします。
	リアルタイム再生	簡易再生を行います。インスタント再生で指定した時間だけ前の映像を再生します。
	ズームイン	電子ズームを行います。マウスで範囲指定し、ホイールで拡大 / 縮小します。
	ビデオを閉じる。	表示しているライブビューを停止します。

6.1.4. ライブ映像メニュー

6.1.4.1. メニュー説明

ライブ映像で右クリックした時に表示するメニューの説明を記載します。

名称	機能
映像を閉じる	表示しているライブビューを閉じます。
全ての映像を閉じる	全てのライブビューを閉じます。
音声(マイク)ON	表示しているカメラの音声を有効 / 無効にします。
双方向通話 ON (対応機器のみ)	アプリケーションと直接接続しているデバイス (IPC / レコーダ) の音声通話を有効 / 無効にします。
録画を開始 (PC へ保存)	簡易録画を行います。ボタンをクリックすると、ライブビューの録画を開始、もう一度クリックすると録画を停止し、録画データを保存します。
スナップショット (PC へ保存)	スナップショットを取得します。ボタンをクリックすると、表示しているライブビューの画像を保存します。
トリプルスナップショット ×3 (3 枚保存)	同時に 3 枚のスナップショットを取得します。
再生	再生画面でそのデバイスを開きます。
マルチ画面モード	6.1.4.2 で説明。
画面サイズの変更	6.1.4.3 で説明。
ストリームの切替	6.1.4.4 で説明。
画像調整	表示している画面の画質調整を行います。
AI 境界検知表示モード	6.1.4.5 で説明。
全画面表示	表示しているライブビューを全画面表示します。

6.1.4.2. マルチ画面モード

有効にすると1つの映像を複数のブロックに分割し、1つは映像全体 / 複数のブロックは一部のズームイン映像を表示することができます。



※「ノーマルモード」を選択すると通常の表示に戻ります。

・1+3 モード



・1+5 モード



6.1.4.3. 画像サイズの変更

メニューで選択した比率で映像を表示します。

「オリジナルモード」は、そのカメラの本来の映像が表示されます。

6.1.4.4. ストリームの切替

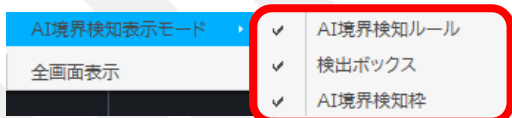
選択したストリームを画面に表示します。



※レコーダのサブストリームは、レコーダ側で有効に設定しないと表示されません。

6.1.4.5. AI 境界検知表示モード

画面内にイベント検知用のラインやボックスを表示します。



6.1.5. 映像表示

ライブ映像の表示変更手順を記載します。

6.1.5.1. 表示変更

画面右下のアイコンをクリックする事で、画面の表示を変更します。



アイコン	機能		
オリジナル ▼	映像の表示比率の変更を行います。オリジナル＝カメラ本来の映像。 全画面表示＝画面全体にカメラ映像を表示。○：○＝指定の比率で表示。		
	4 画面表示にします。		カスタム映像表示します。次章で説明。
	9 画面表示にします。		フルスクリーン表示にします。
16	16 画面表示にします。		

6.1.5.2. カスタム映像

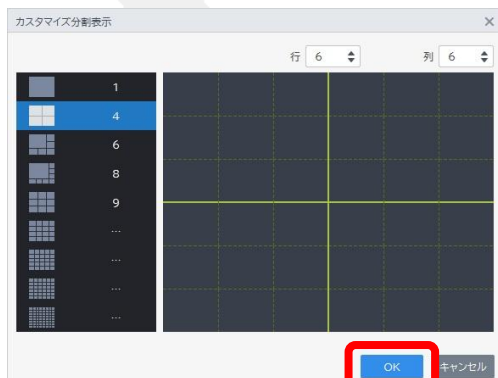
表示したい画面をクリックすると、指定の表示に変更されます。



- ・ 通常分割
標準で登録された画面表示。
1 段目：単画面、4 画面、6 画面、8 画面、9 画面
2 段目：16 画面、25 画面、36 画面、64 画面
※右上の星型アイコンがあると、ライブ映像のアイコンに表示されます。
- ・ カスタマイズ分割
カスタム画面が表示されます。「」をクリックすると、次章で説明するカスタム分割画面を作成できます。

6.1.5.3. カスタム分割画面

右下のアイコン「」をクリックしてカスタム分割画面を表示し、修正する画面を選択します。
右側の四角の線をクリックして実線にすると分割、もう一度クリックすると点線となって線が削除されます。
変更した画面は「OK」をクリックして保存され、前章の「カスタマイズ分割」に表示されます。



6.1.6. グループ作成

6.1.6.1. グループ作成①

「チャンネル」を右クリックし、「チャンネル」内に新しいグループを、、、をクリックします。



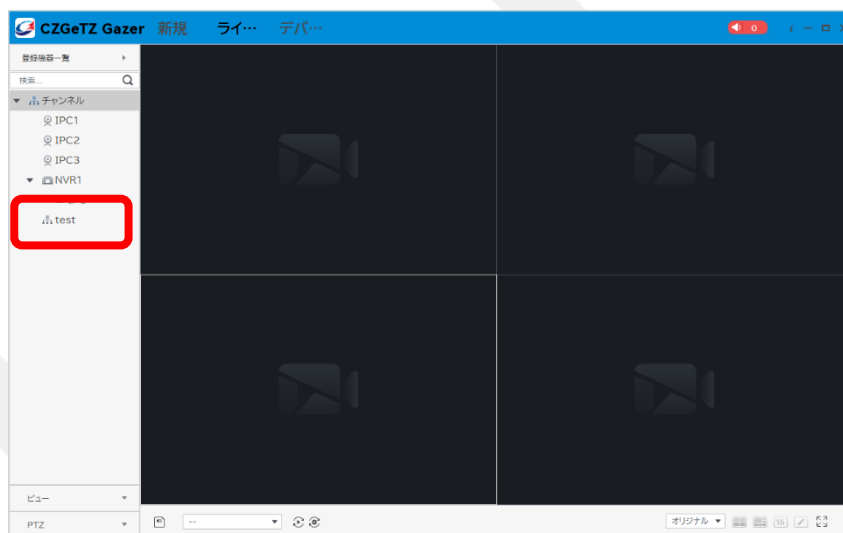
6.1.6.2. グループ作成②

- ①グループの名前を入力します。
- ②「保存」をクリックします。



6.1.6.3. グループ作成③

グループが作成されます。グループには登録したデバイスを移動する事ができます。



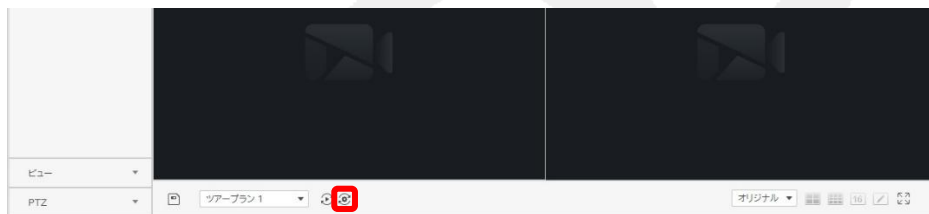
6.2. ツアー / ビュー

6.2.1. ツアー / ビュー

ライブ映像を指定した順序で表示するツアーと、
ライブ映像を指定した組み合わせで表示するビューの説明を記載します。

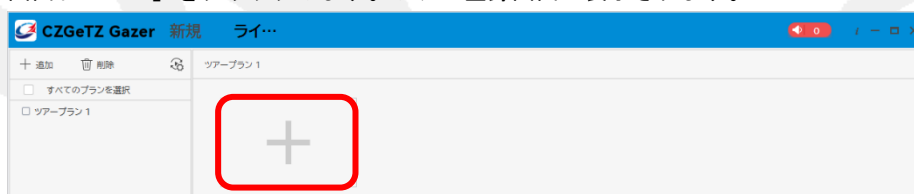
6.2.1.1. ツアー登録①

画面下の「」をクリックします。



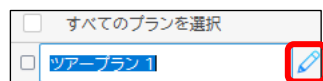
6.2.1.2. ツアー登録②

画面右の「+」をクリックします。ツアー登録画面が表示されます。



<ツアー名の変更>

「ツアー名」にマウスを近付けると、右端にアイコンが表示されます。
このアイコンをクリックすると、「ツアー名」が変更できます。

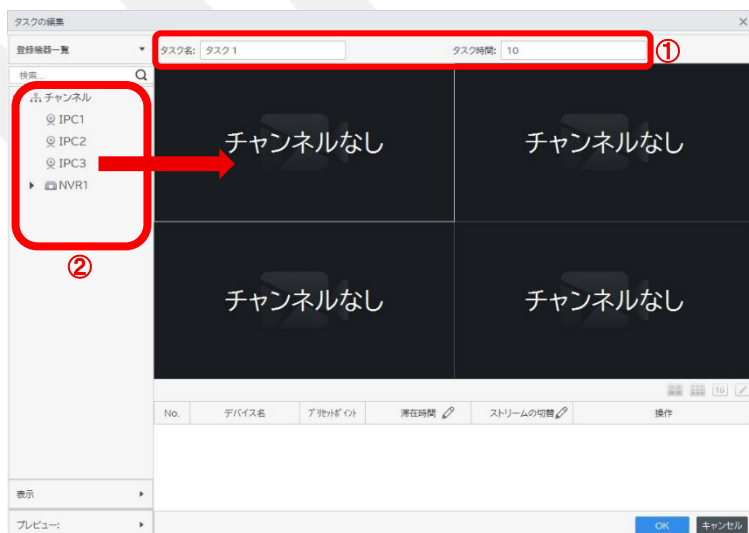


6.2.1.3. ツアー登録③

ツアー登録画面が表示されます。

①「タスク名」とツアーを表示する時間(秒)を入力します。

②画面左から表示したいデバイスを表示するチャンネルへドラッグします。



6.2.1.4. ツアー登録④

- ① ツアーで表示する映像の詳細を設定します。
- ② 「OK」をクリックします。

No.	デバイス名	プリセットポイント	滞在時間	ストリームの切替	操作
1	IPC1: IPC	なし	10s	サブストリーム1(低...	🔍 ⬆ ⬇ 🗑

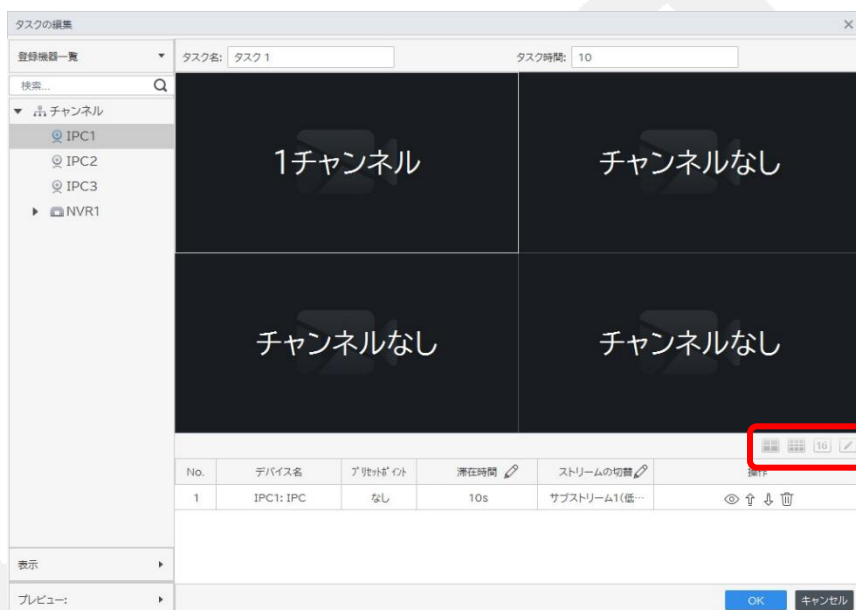
- ・プリセットポイント
PTZ カメラの場合、表示するプリセット番号を設定できます。(未設定も可能)。
- ・滞在時間
表示する時間を 5 秒以上で設定します。
- ・ストリームの切替
メイン / サブストリームを設定します。
- ・操作
 - 🔍 選択した行のプレビュー
 - ⬆ 選択した行を上げる
 - ⬇ 選択した行を下げる
 - 🗑 選択した行を削除

※1 つのチャンネルに複数のカメラを登録して表示する事もできます。
複数のカメラを登録する場合は、タスク時間を滞在時間の合計以上に設定してください。

No.	デバイス名	プリセットポイント	滞在時間	ストリームの切替	操作
1	NVR1: IPC1	なし	10s	サブストリーム1(低...	🔍 ⬆ ⬇ 🗑
2	NVR1: IPC2	なし	5s	サブストリーム1(低...	🔍 ⬆ ⬇ 🗑
3	NVR1: IPC3	なし	15s	サブストリーム1(低...	🔍 ⬆ ⬇ 🗑

6.2.1.5. ツアー登録⑤

画面構成を変更する場合は右下のボタンをクリックします。



- ・  4画面表示にします。
- ・  9画面表示にします。
- ・  16画面表示にします。
- ・  画面構成をカスタマイズします。
次章を参照してください。

6.2.1.6. 表示画面変更

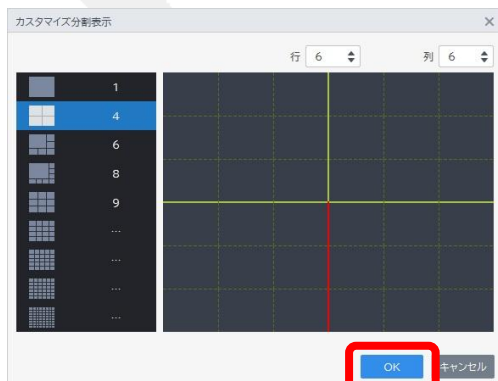
表示したい画面をクリックすると、指定の表示に変更される。



- ・ 通常分割
標準で登録された画面表示。
1 段目：単画面、4画面、6画面、8画面、9画面
2 段目：16画面、25画面、36画面、64画面
※右上の星型アイコンがあると、ライブ映像のアイコンに表示されます。
- ・ カスタマイズ分割
カスタム画面が表示されます。「」をクリックすると、次章で説明するカスタム分割画面を作成できます。

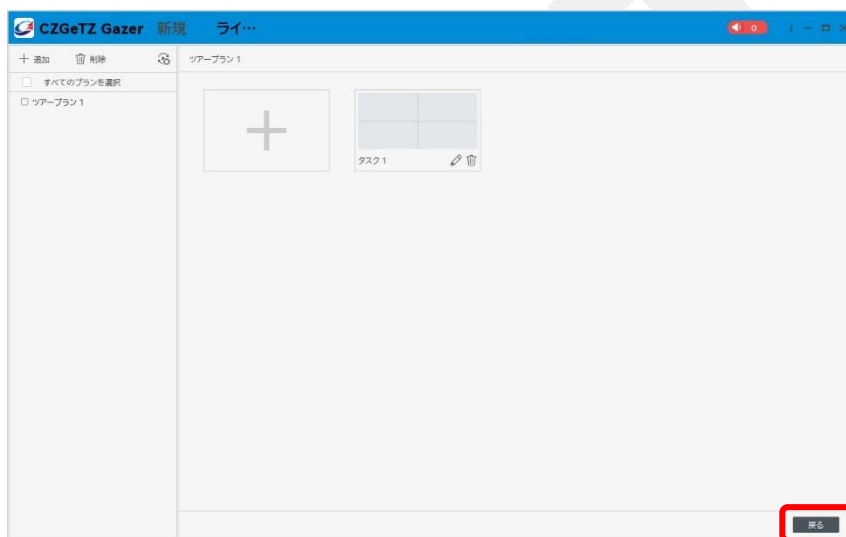
6.2.1.7. カスタム分割画面作成

右下のアイコン「」をクリックしてカスタム分割画面を表示し、修正する画面を選択します。
右側の四角の線ををクリックして実線にすると分割、もう一度クリックすると点線となって線が削除されます。
変更した画面は「OK」をクリックして保存され、前章の「カスタマイズ分割」に表示されます。



6.2.1.8. ツアー登録⑥

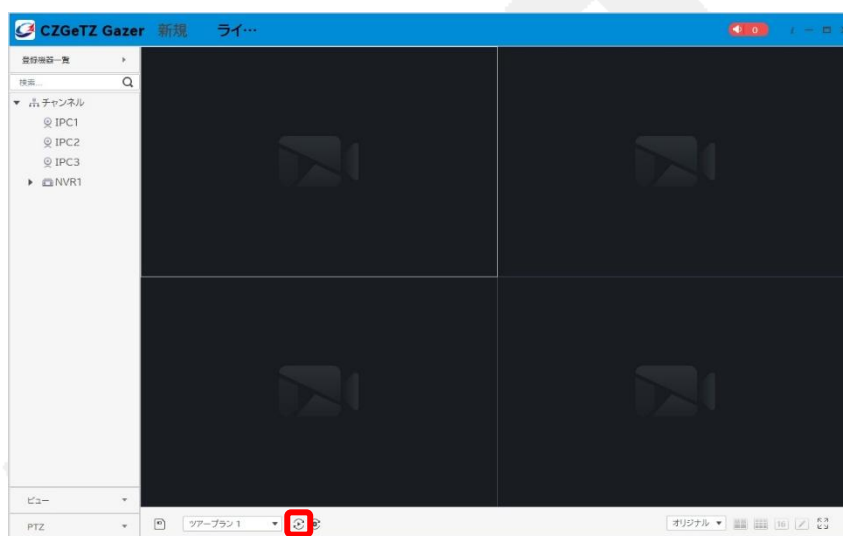
ツアーを登録したら、「戻る」をクリックします。



※ツアーは複数のタスクを作成して表示する事ができます。

6.2.1.9. ツアー実行

実行するツアーを選択し「🔍」をクリックするとツアーが開始されます。



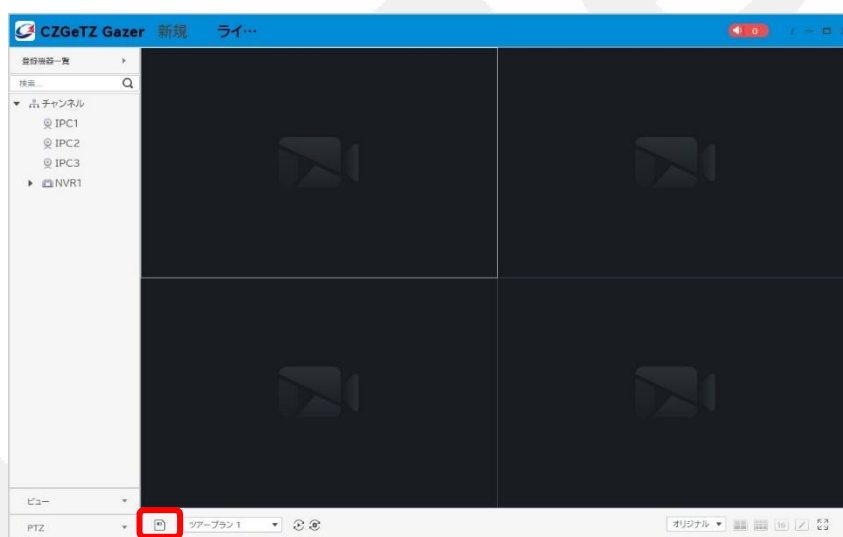
※もう一度「🔍」をクリックすると停止します。

6.2.2. ビュー

ライブビュー画面の表示を保存し、いつでも呼び出せるようにする機能です。

6.2.2.1. ビュー登録①

画面下部の「📌」をクリックします。



6.2.2.2. ビュー登録②

必要な情報を入力し、「OK」をクリックしてビューを保存します。

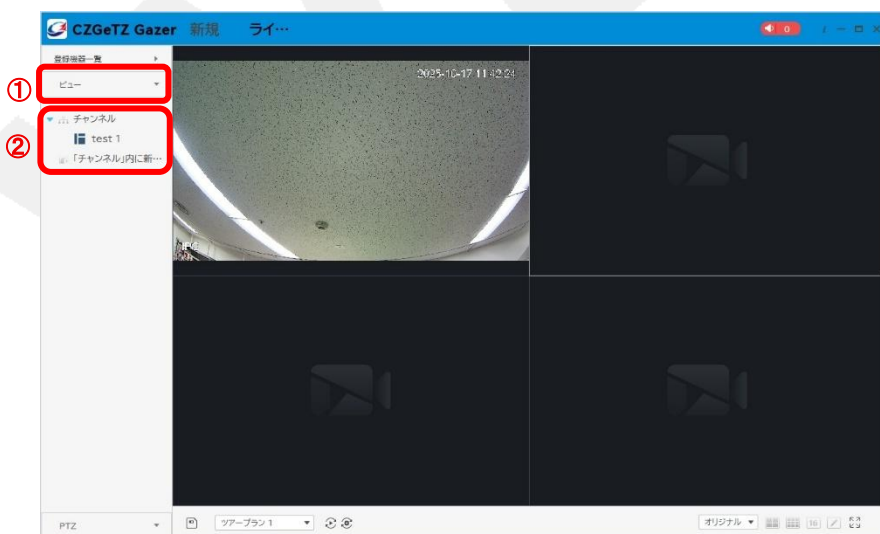


- ・名前
ビューの名前を入力します。
- ・グループ名
ビューを登録するグループ名を選択します。
- ・モニタープラン保存先
左のチェックボックスをチェックし、ツアーを選択するとビューをツアーのタスクとしても登録します。

6.2.2.3. ビュー表示

①「ビュー」をクリックします。

②登録されたビューをダブルクリックすると、登録した画面が表示されます。



※デバイスがオンラインでないと、映像の表示はできません。

6.2.3. ビューグループ

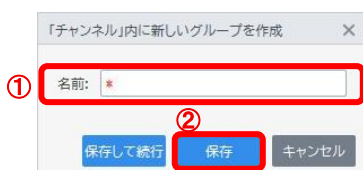
6.2.3.1. ビューグループの登録①



①「ビュー」をクリックします。

②「「チャンネル」内に新しいグループを作成」をクリックします

6.2.3.2. ビューグループの登録②



①「名前」を入力します。

②「保存」をクリックすると、指定した名前のグループがビューの画面に登録されます。

※「保存して続行」をクリックすると続けてグループを作成できます。

6.3. E-MAP

ライブビュー画面にマップ画像を登録し、そこにデバイスを配置する機能について記載します。

6.3.1. マップ登録

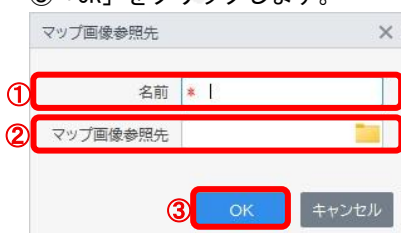
6.3.1.1. マップ登録①

「チャンネル」を右クリックし、「マップ画像の取り込み」をクリックします。



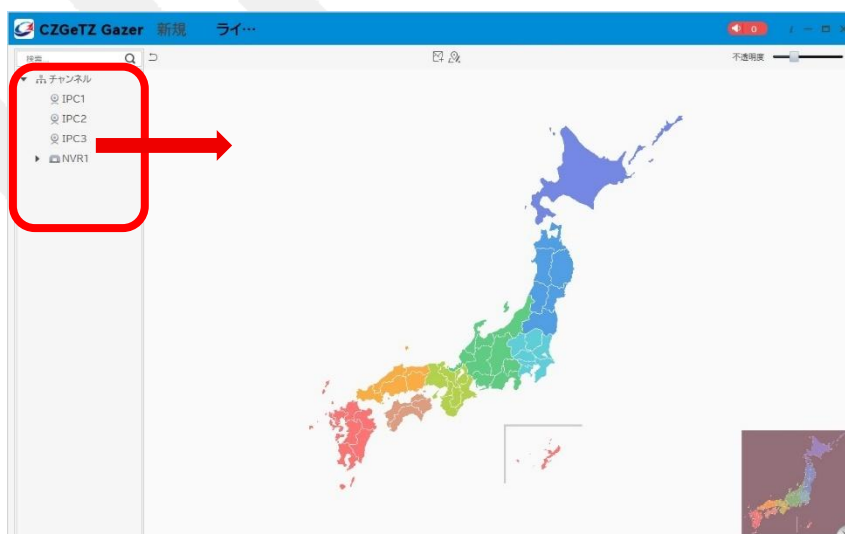
6.3.1.2. マップ登録②

- ①マップの「名前」を入力します。
- ②マップの画像(PNG / JPG / BMP) を指定します。
- ③「OK」をクリックします。



6.3.1.3. マップ登録③

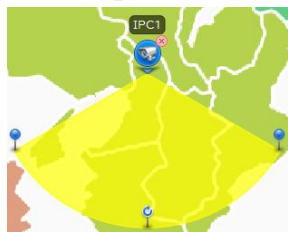
編集可能な状態で表示されるので、左から登録したいデバイスをドラッグして配置します。



6.3.1.4. マップ登録④

登録したデバイスにマウスを近付けると青くなります。

アイコンをドラッグすると移動、黄色の枠は3つのピンで画角の広さと大きさが調整できます。



※アイコンの右上の「×」をクリックすると、デバイスを削除できます。

6.3.1.5. マップ登録⑤

左上の「㊦」をクリックすると編集が終了します。



6.3.2. サブマップ登録

6.3.2.1. サブマップ登録①

「㊦」をクリックします。

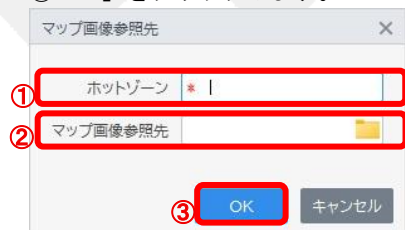


6.3.2.2. サブマップ登録②

①マップの名前を入力します。

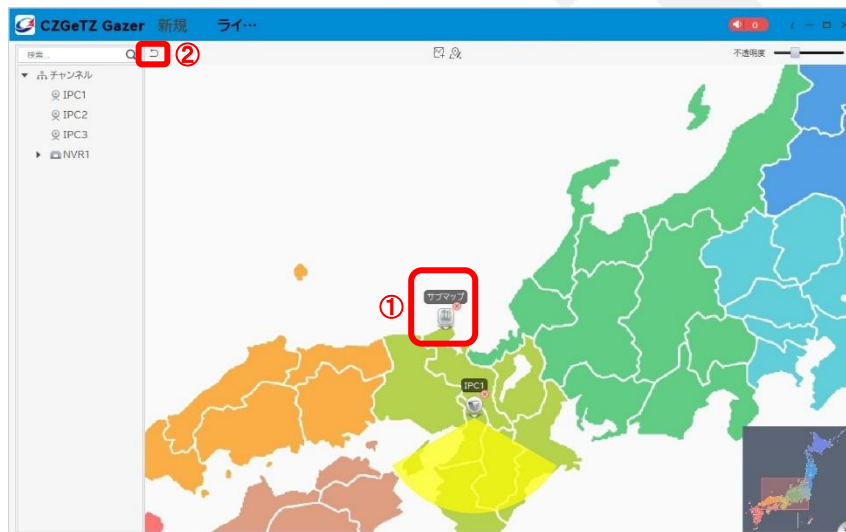
②マップの画像(PNG / JPG / BMP) を指定します。

③「OK」をクリックします。



6.3.2.3. サブマップ登録③

- ①アイコンが登録されるので、配置したい場所にドラッグして移動させます。
- ②左上の「コ」をクリックすると編集が終了します。

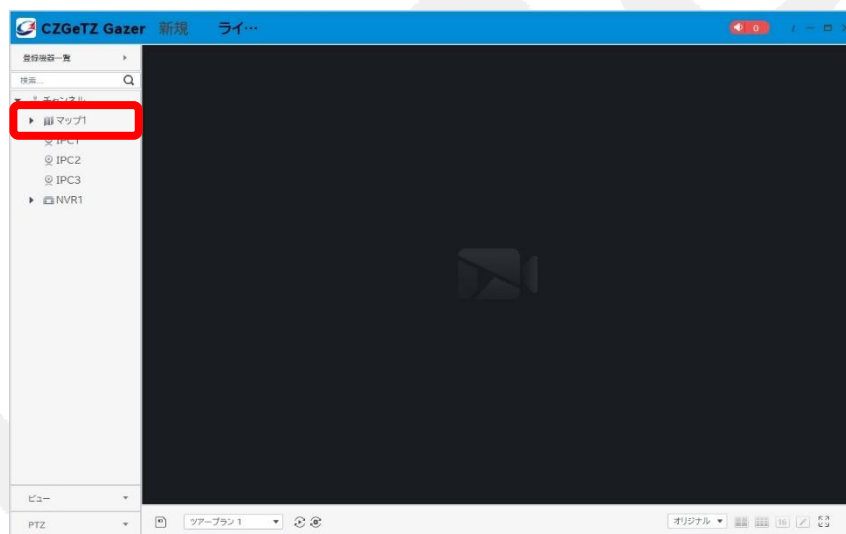


※アイコンの右上の「×」をクリックすると、デバイスを削除できます。

6.3.3. E-MAP 表示

6.3.3.1. マップ表示①

ライブビューを1画面にし、トップのマップをダブルクリックします。



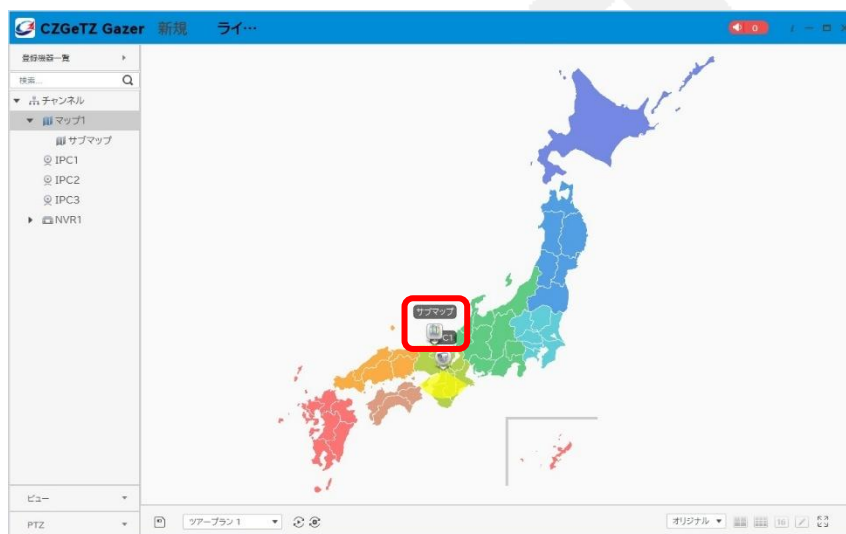
<ライブビューを1画面にする方法>

- ①画面右下の「」をクリックし、カスタマイズ分割画面を表示します。
- ②1画面表示をクリックします。



6.3.3.2. サブマップ表示①

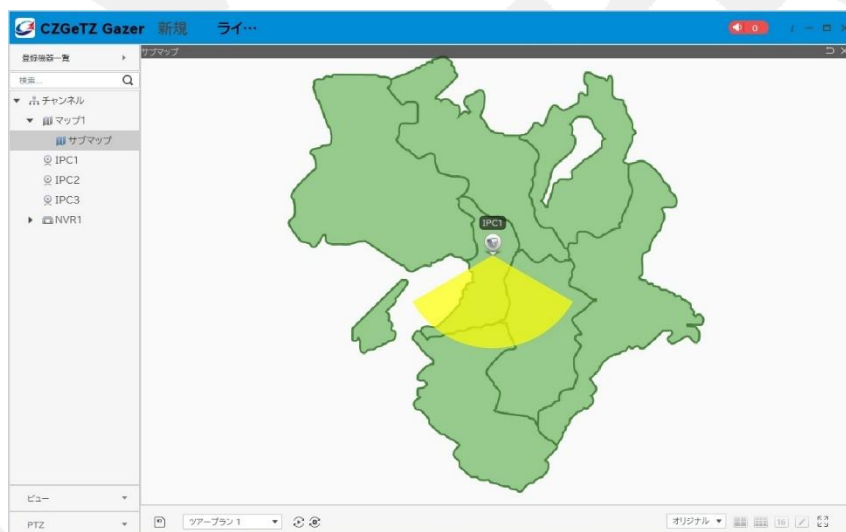
マップを表示し、サブマップのアイコンをダブルクリックします。



6.3.3.3. サブマップ表示②

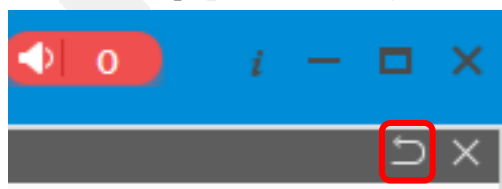
サブマップが表示されます。

サブマップも編集する事でカメラ配置やその下にマップを置く事ができます。



6.3.3.4. サブマップ表示③

画面右上の「[戻る]」をクリックすると前のマップに戻ります。



6.3.4. マップ編集

マップを編集する場合、マップを右クリックし、表示されたメニューから「編集」をクリックします。



6.3.5. E-MAP 使用方法

6.3.5.1. マップ表示

ライブビュー画面から表示したいE-MAP マップのアイコンをダブルクリックします。



※1 つのマップを複数画面で表示しても、画面間での連携は行われません。

6.3.5.2. デバイス表示

デバイスの状態により、アイコンの表示が変化します。



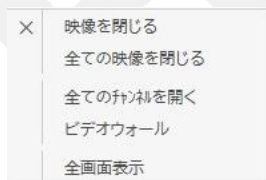
デバイスがオンライン



デバイスがオフライン

6.3.5.3. メニュー

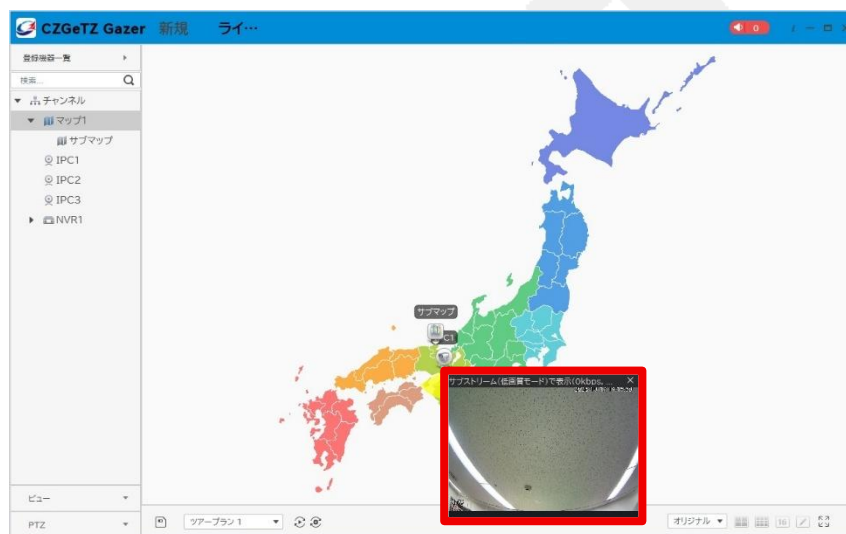
E-MAP 上で右クリックして表示されるメニューについて記載します。



名称	機能
映像を閉じる	表示しているマップとライブ映像を閉じます。
全ての映像を閉じる	全てのマップとライブ映像を閉じます。
全てのチャンネルを開く	6.3.5.5 全チャンネルオープン を参照。
ビデオウォール	6.3.5.6 ビデオウォール を参照。
全画面表示	表示しているライブビューを全画面表示します。

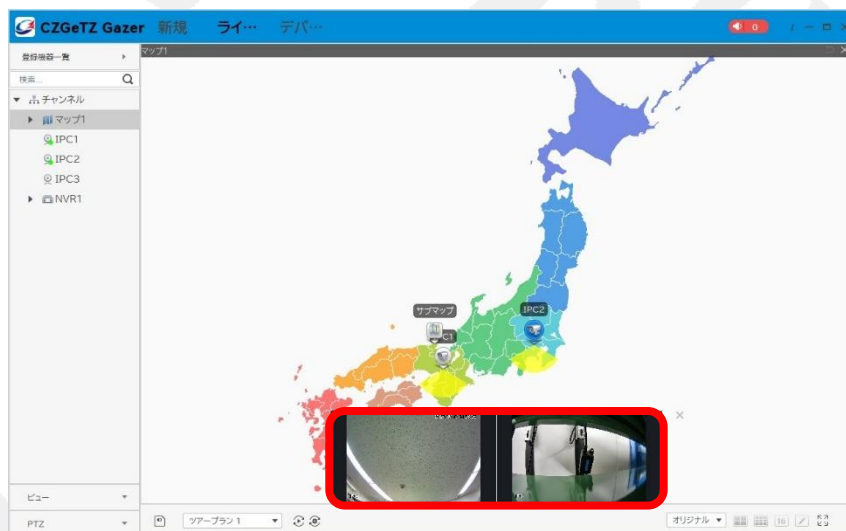
6.3.5.4. ライブ映像表示（サブストリーム）

アイコンをクリックするとライブ映像(サブストリーム)が表示されます。



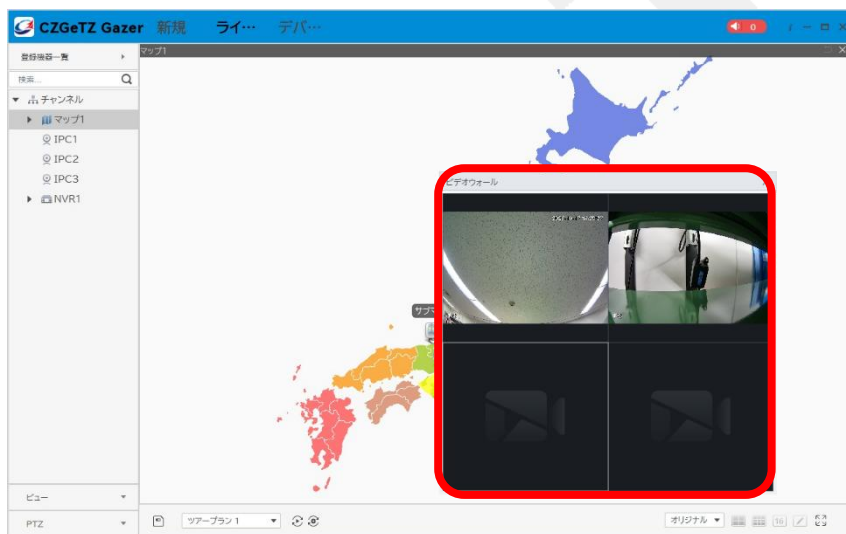
6.3.5.5. 全チャンネルオープン

メニューから「全チャンネルオープン」をクリックすると、マップ下にマップに登録されたデバイス全てのライブ映像（サブストリーム）が表示されます。



6.3.5.6. ビデオウォール

メニューから「ビデオウォール」をクリックすると、マップに登録されたデバイス全てのライブ映像（サブストリーム）が別ウィンドウで表示されます。



7. 再生

録画データ再生の操作の説明を記載します。操作にはデバイスへのログインが必要です。

7.1. 録画再生

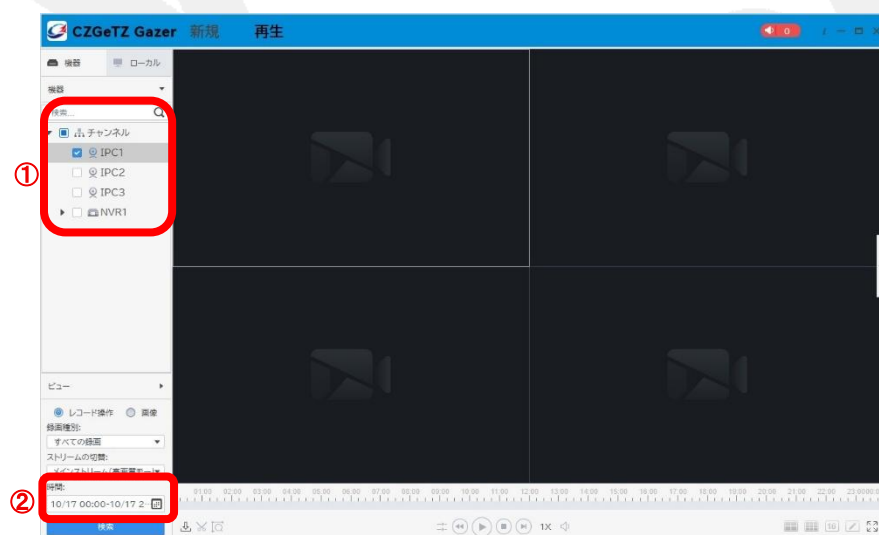
7.1.1. メニュー表示

メインメニューから「再生」をクリックします。



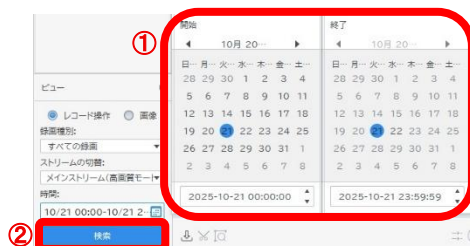
7.1.2. デバイス指定

- ① 録画再生したいデバイスをチェックします。
- ② 「時間」をクリックします。



7.1.3. 録画時間検索

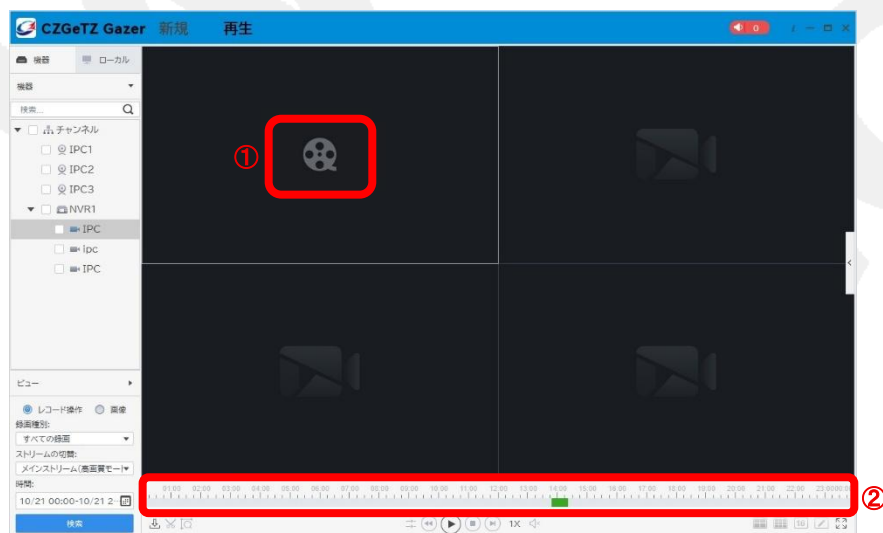
- ①開始時間と終了時間を指定します。
- ②「検索」をクリックします。



※検索期間は1日

7.1.4. 録画再生①

- ①表示された「🎬」をクリックします。
- ②再生したい時間をクリックするとチャンネル毎に再生が開始されます。



※🎬は検索を指定したデバイスの上から順番に表示されます。

※🎬は録画データがあるチャンネルに表示されます。

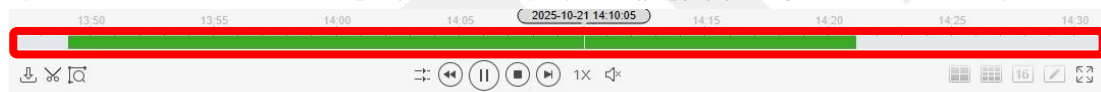
7.1.4.1. タイムバー操作①

緑色の箇所録画データが存在し、再生したい時間をマウスでクリックすると、再生が開始されます。



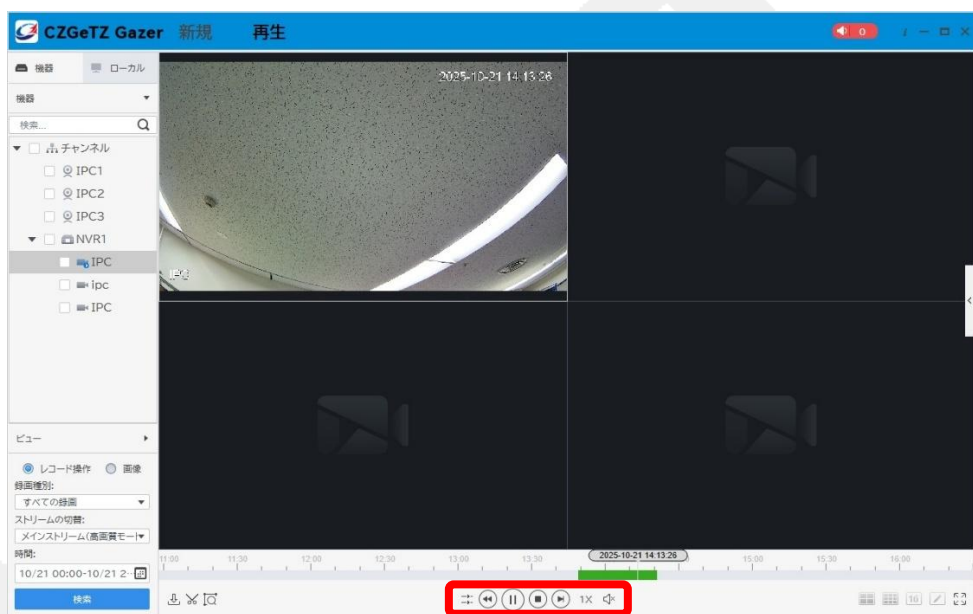
7.1.4.2. タイムバー操作②

時間のバーでマウスのホイールを回転すると、時間表示の幅を変更する事ができます。(24時間⇄分)。



7.1.5. 録画再生②

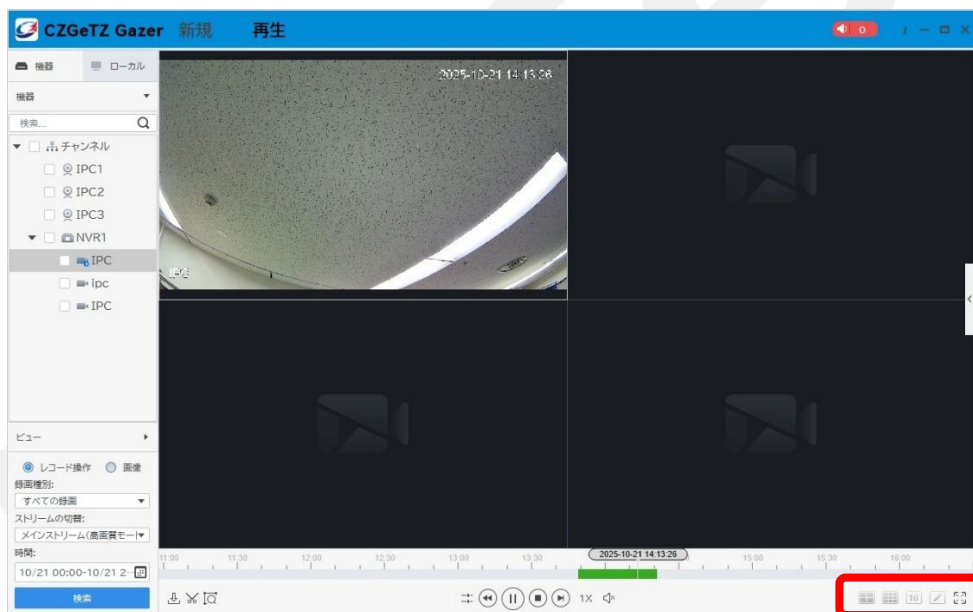
アイコン操作について記載します。



- 複数のチャンネルと同期再生。1画面での使用は不可。
- 逆再生(同期再生中は使用不可)。
- 一時停止/再生。
- 再生停止。
- フレーム単位再生。
- 1X
倍速再生。8倍～1/8倍まで設定可能。
- 音声ミュート。

7.1.6. 録画再生③

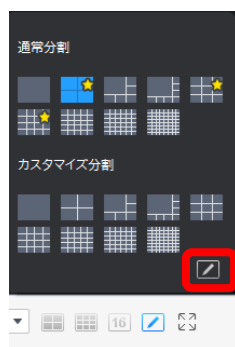
アイコン操作について記載します。



- 4画面表示にします。
- 9画面表示にします。
- 16
16画面表示にします。
- 画面構成をカスタマイズします。
次章を参照
- フルスクリーン表示にします。

7.1.6.1. 表示画面変更

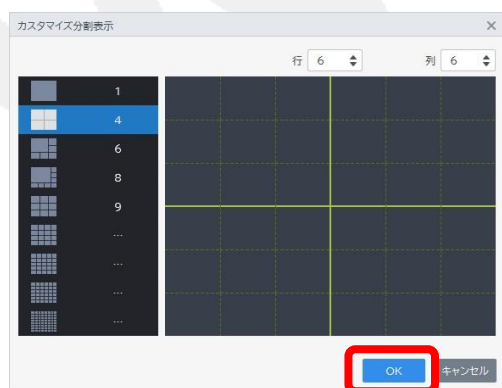
表示したい画面をクリックすると、指定の表示に変更されます。



- ・通常分割
標準で登録された画面表示。
1 段目：単画面、4 画面、6 画面、8 画面、9 画面
2 段目：16 画面、25 画面、36 画面、64 画面
※右上の星型アイコンがあると、ライブ映像のアイコンに表示されます。
- ・カスタマイズ分割
カスタム画面が表示されます。「」をクリックすると、次章で説明するカスタム分割画面を作成できます。

7.1.6.2. カスタム分割画面作成

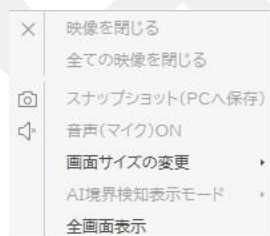
右下のアイコン「」をクリックしてカスタム分割画面を表示し、修正する画面を選択します。
右側の四角の線をクリックして実線にすると分割、もう一度クリックすると点線となって線が削除されます。
変更した画面は「OK」をクリックして保存され、前章の「カスタマイズ分割」に表示されます。



7.1.7. 録画再生④

7.1.7.1. 通常メニュー

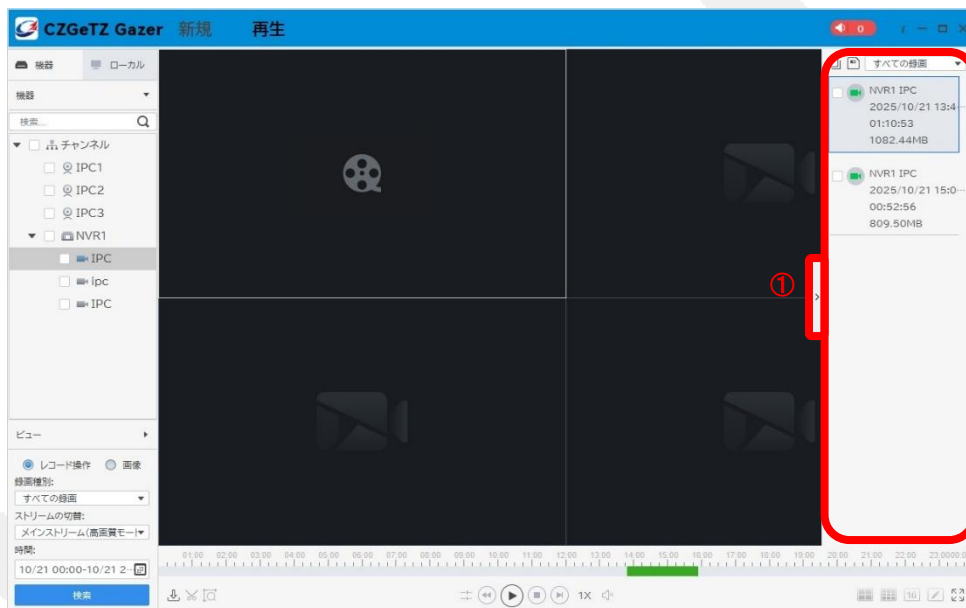
再生時に右クリックで表示されるメニューについて説明します。
詳細は 6.1.4.1 メニュー説明を参照してください。



名称	機能
映像を閉じる	表示しているビューを閉じます。
全ての映像を閉じる	全てのビューを閉じます。
スナップショット (PC へ保存)	スナップショットを取得します。ボタンをクリックすると、表示しているビューの画像を保存します。
音声 (マイク) ON	カメラ音声を再生します (マイク実装済みのみ)。
画面サイズの変更	メニューで選択した比率で映像を表示します。
AI 境界検知表示モード	画面内に AI 境界検知用のラインやボックスを表示します。
全画面表示	表示しているライブビューを全画面表示にします。

7.1.8. 録画再生⑤

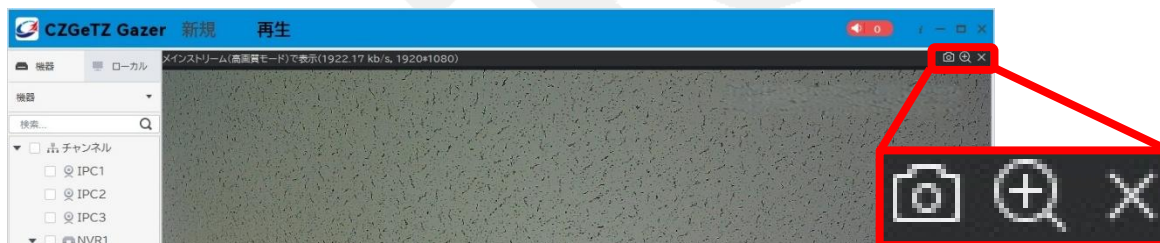
- ①右の矢印タブをクリックします。
- ②保存単位(デフォルト1時間)の録画リストが表示されます。
ダブルクリックすると、その時間での再生が開始されます。



※右上のコンボボックスから、一般録画やアラーム録画の表示選択が可能です。

7.1.9. 録画再生⑥

ビューの右上に表示されているアイコンの説明となります。



アイコン	名称	機能
	スナップショット	スナップショットを取得します。ボタンをクリックすると、表示しているライブビューの画像を保存します。
	ズームイン	電子ズームを行います。マウスで範囲指定し、ホイールで拡大 / 縮小します。
	ビデオを閉じる	表示しているライブビューを停止します。

7.1.10. ローカル再生

録画再生画面から「ローカル」をクリックすると表示されます。

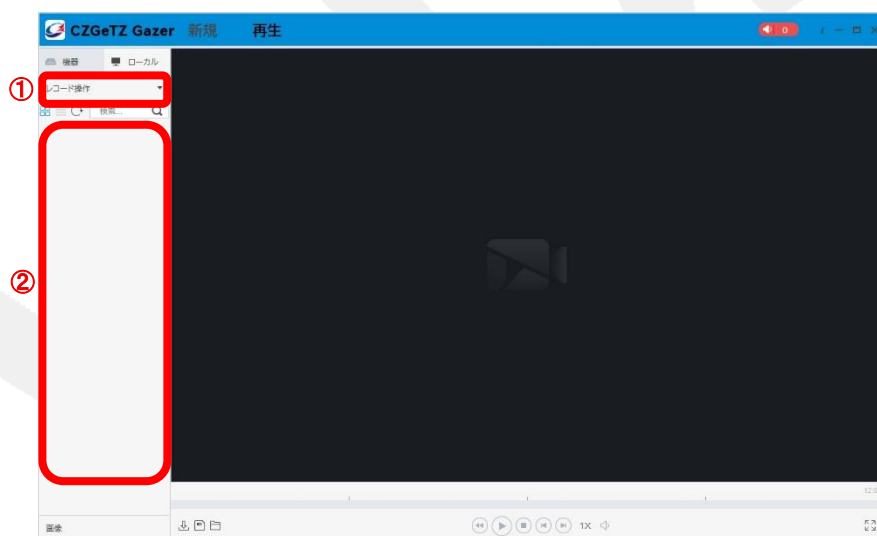
インスタント録画やスナップショットを取得したファイルや、ローカル PC にエクスポートした録画データを参照できます。

※HDD や SD カードに保存したデータを表示することはできません。

7.1.10.1. ローカル録画

①「レコード操作」をクリックします。

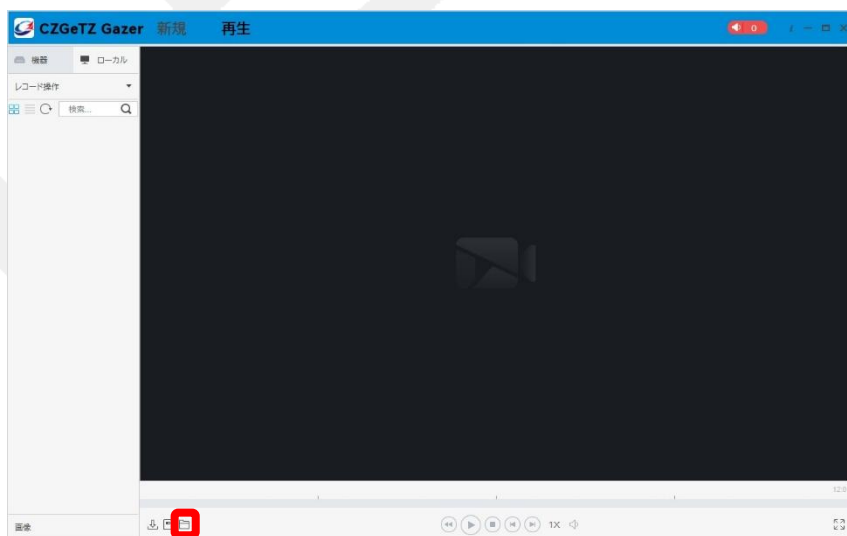
②左ペインに録画データが表示されるので、必要なデータを選択し、再生します。



7.1.10.2. ローカル再生

エクスポートした録画データを再生できます。

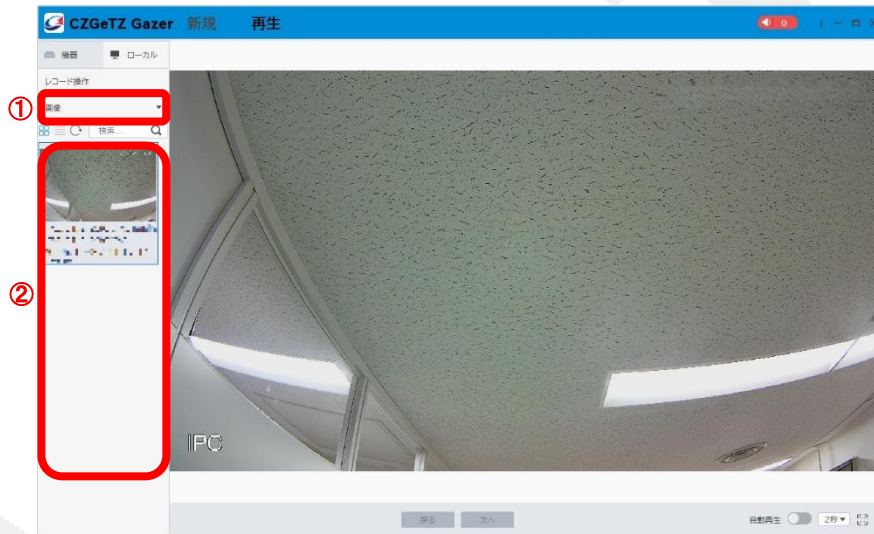
左下のアイコン「」をクリックするとダイヤログが開くので、録画データを指定するとそのファイルが再生されます。



7.1.10.3. ローカル録画(スナップショット)

①「画像」をクリックします。

②左ペインに画像が表示されるので、必要なデータを選択して表示します。

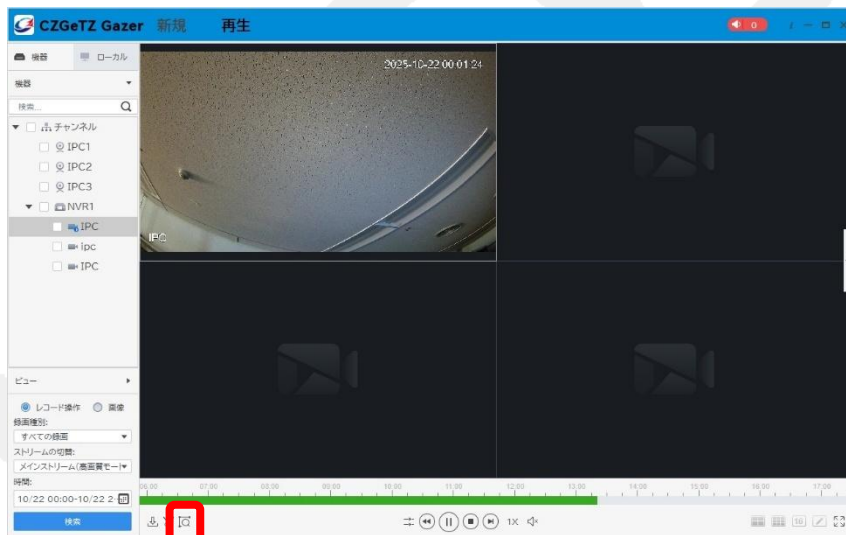


7.2. スマート検索

スマート検索は指定したエリア内で、動きがあった場所だけを検索 / 表示する機能です。
※レコーダに動体検知の設定をしている事が必須となります。

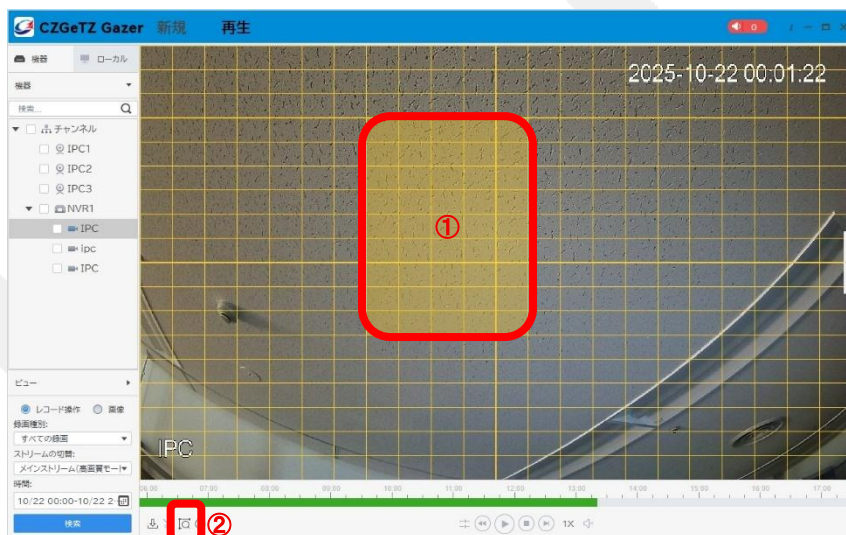
7.2.1. スマート検索①

動画の再生中に、「」をクリックします。



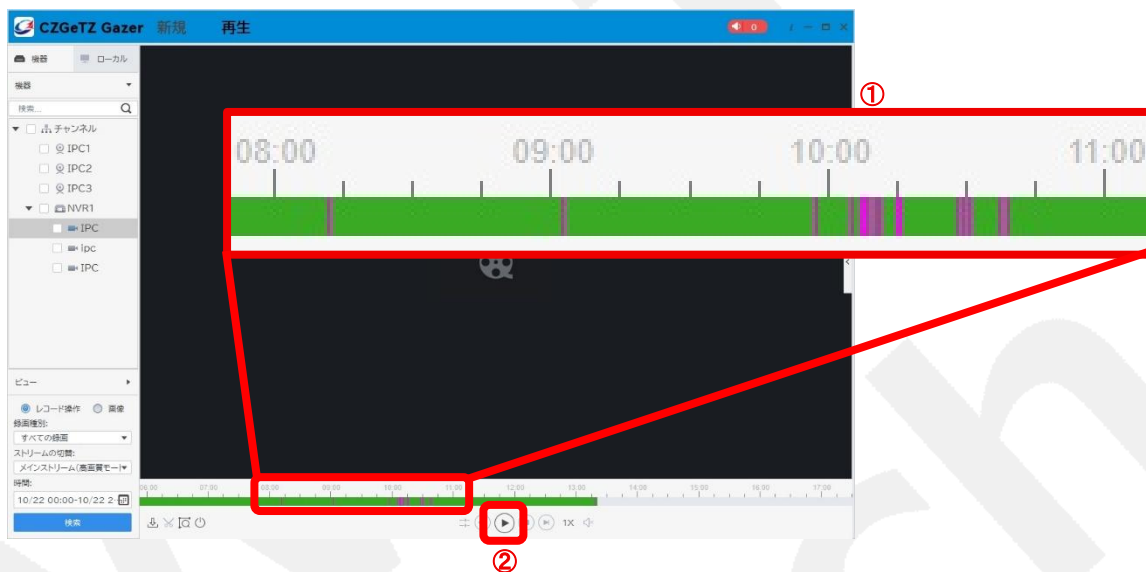
7.2.2. スマート検索②

- ①動きがあった事を知りたいエリアをマウスで選択します。
- ②「」をクリックします。



7.2.3. スマート検索③

- ①動きがあった時間帯がピンクで表示されます。
- ②「▶」をクリックすると、動きがあった箇所が再生されます。

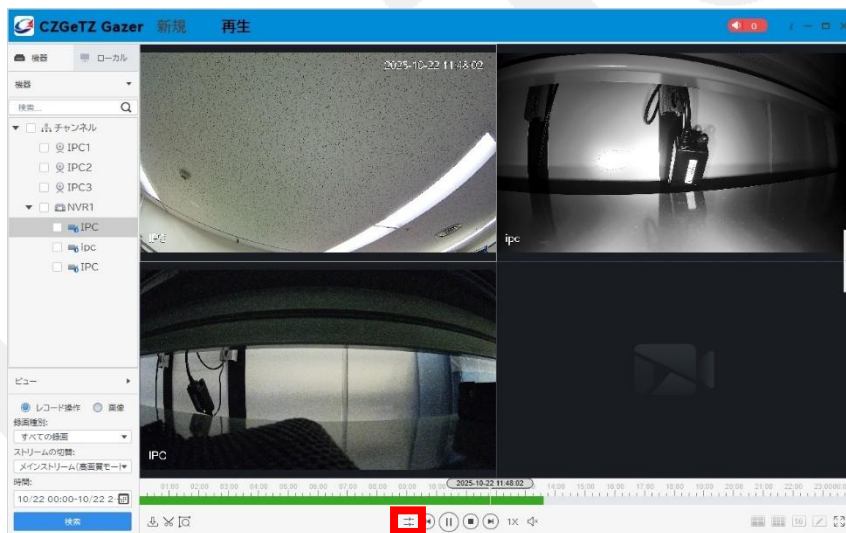


7.2.3.1. スマート検索④

「⏏」をクリックするとスマート検索が終了します。

7.3. 同期再生

複数のチャンネルを再生すると、カメラ毎に別々に指定した時間で再生されます。
複数のチャンネルを同じ再生時間に合わせる場合、「🕒」をクリックします。

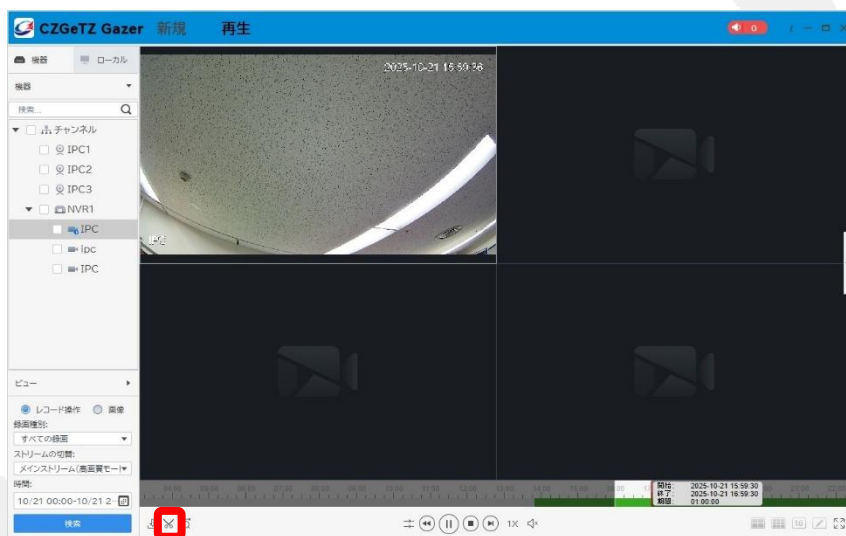


7.4. 録画データエクスポート

録画データのエクスポートについて記載します。

7.4.1. エクスポート①

動画を再生し、出力したい時間の近くで画面左下の  をクリックします。

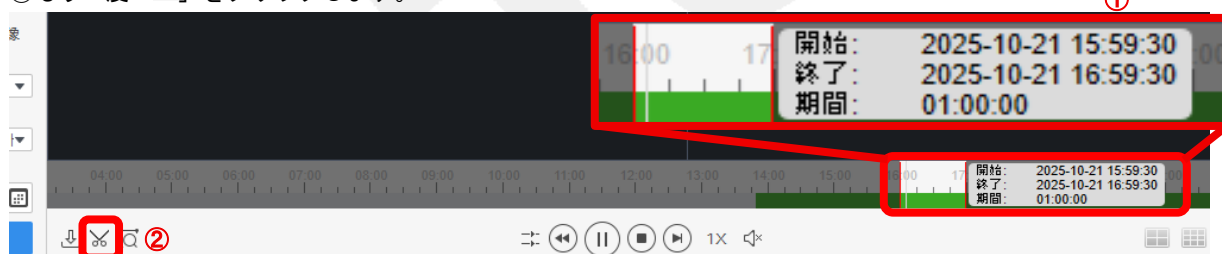


7.4.2. エクスポート②

①左右の赤線をドラッグして動かし、エクスポートする開始時間と終了時間を設定します。

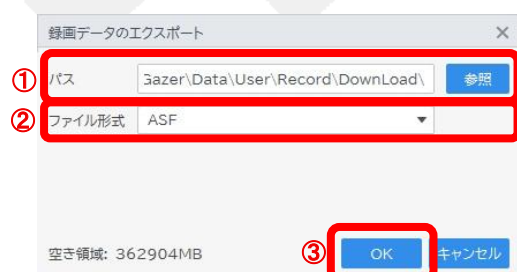
※緑色が録画済の時間です。クリックした時間を再生します。カーソルをバーにあわせてホイールを回転すると、時間枠を拡大・縮小ができます。

②もう一度「」をクリックします。



※1時間以上のエクスポートは機器に負荷が大きく、失敗する可能性が高いので、なるべく短時間で録画データのエクスポートを実施する事を推奨します。

7.4.3. エクスポート③



①「参照」をクリックし、出力先を設定します。

②ファイル形式を選択します。

③「OK」をクリックします。

※ファイル形式 (ASF/AVI/MP4/オリジナルフォーマット)

※オリジナルフォーマットを選択すると、DAV 形式で映像が出力されます。

再生は 7.1.10.2 ローカル再生で行うか、別途 CZGeTZ Viewer のインストールが必要となります。

7.4.4. エクスポート④

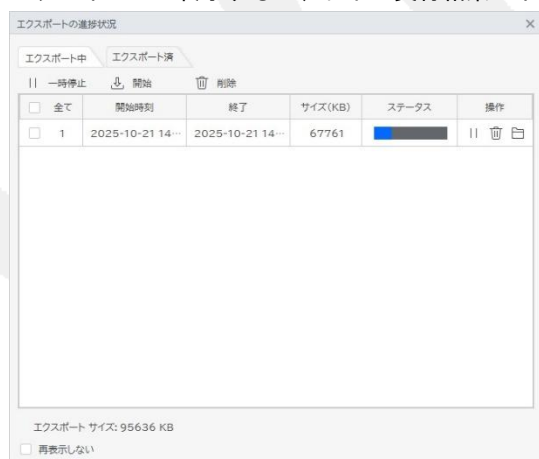
以下の画面が表示されるので、「OK」をクリックします(録画再生が停止されます)。



7.4.5. エクスポート⑤

以下の画面が表示されます。

エクスポートが終了すると、右下に実行結果がポップアップで表示されます。



8. イベント設定

デバイスのイベントとアプリケーションを連携させます。連携にはアプリケーションの常時起動が必要となります。
※デバイスとの連携を行うため、デバイスは常にオンラインである必要があります。

8.1. 設定

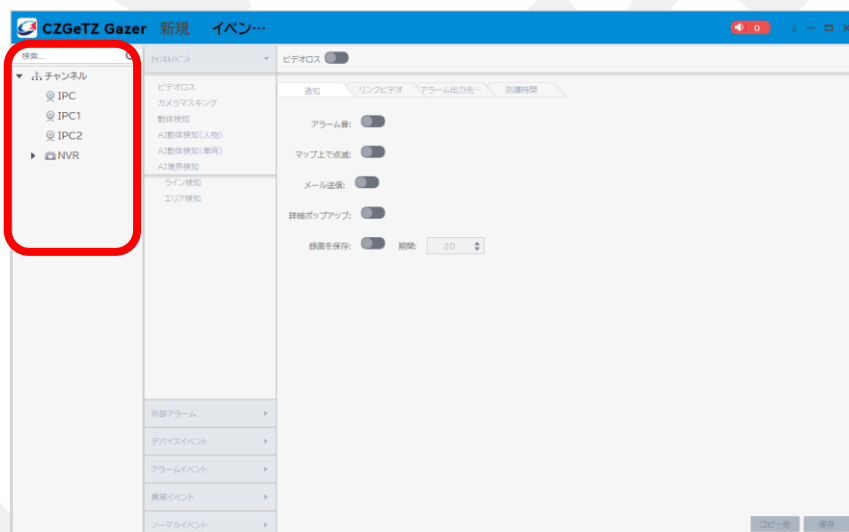
8.1.1. メニュー表示

メインメニューから「イベント設定」をクリックします。



8.1.2. デバイス指定

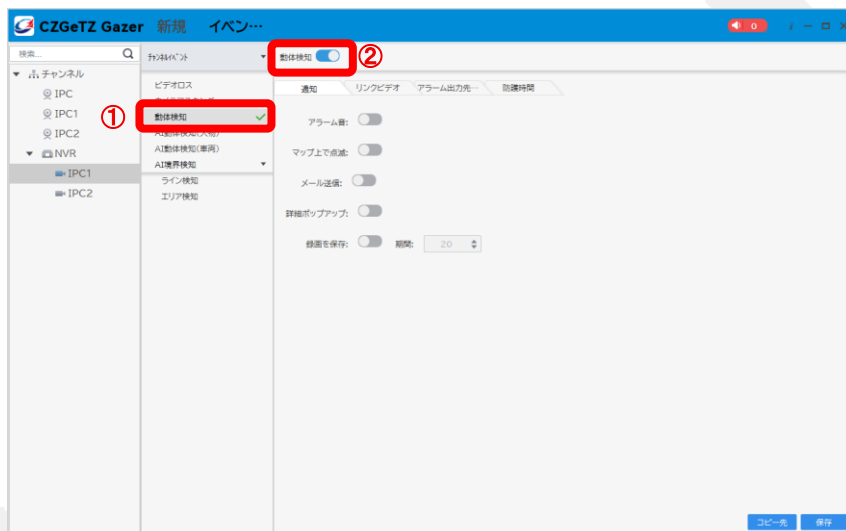
以下の画面が表示されるので、連携するデバイス(オンライン)を選択します。



8.1.3. イベント連携①

本章では例として動体検知を連携させます。

- ①メニューから「動体検知」をクリックします。
- ②画面上段の「動体検知」にチェックを入れます。



8.1.4. イベント連携②

「通知」をクリックすると以下の画面が表示されます。デバイスの検知と連携して動作します。

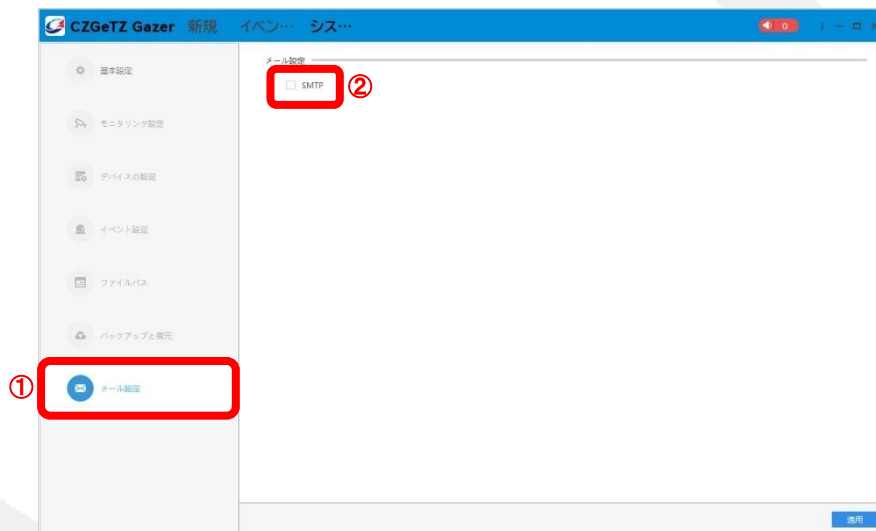


名称	機能
アラーム音	検知すると、PC から音声を出します。
マップ上で点滅	検知すると、E-MAP 上のアイコンを点滅させます。
メール送信	検知すると、メール送信を行います。 ※後述の設定が必要です。
詳細ポップアップ	検知すると、ポップアップメッセージを表示します。
録画を保存	検知すると、検知時の映像をローカル録画します。期間=録画秒数

8.1.4.1. メール送信設定①

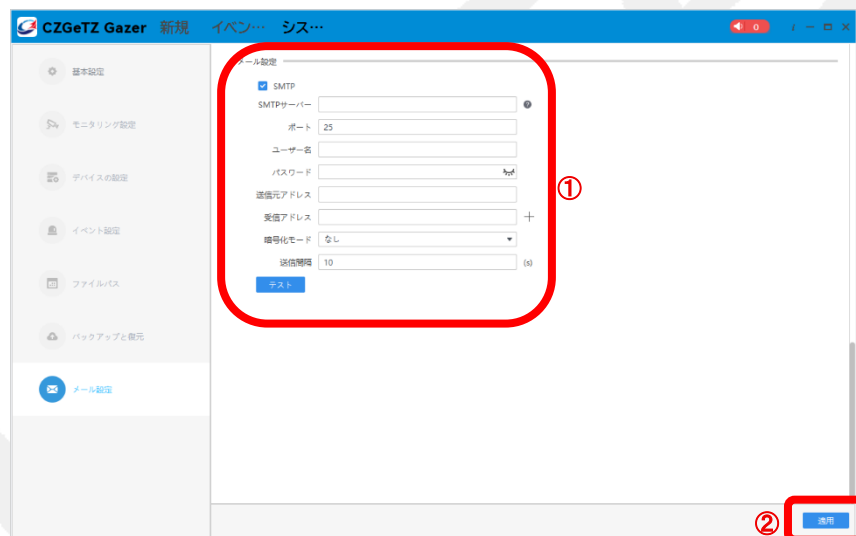
4.1.1. メニュー表示を参照してシステム設定を表示します。

- ①「メール設定」を表示します。
- ②「SMTP」にチェックを入れます。



8.1.4.2. メール送信設定②

- ①必要な情報を入力します。
- ②「適用」をクリックします。



項目	設定	項目	設定
SMTP サーバー	メール送信先の IP か FQDN を入力。	送信元アドレス	メール送信者のアドレス
ポート	SMTP サーバーのポート番号	受信アドレス	メール送信先のアドレス (最大 5)。
ユーザー名	メールアドレスのユーザー	暗号化モード	暗号化形式を設定 (なし/TLS/SSL)
パスワード	ログインパスワード	送信間隔	メール送信間隔 (秒)

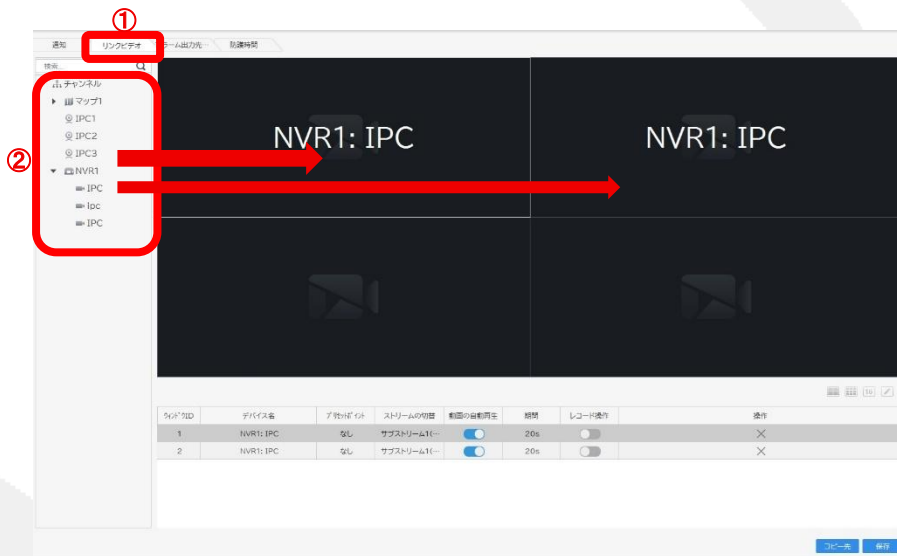
※「テスト」をクリックすると、設定した SMTP サーバーへテストメールを送信します。

8.1.5. イベント連携③

デバイスの検知と連携してポップアップして映像を表示します。

①「リンクビデオ」をクリックし、以下の画面を表示します。

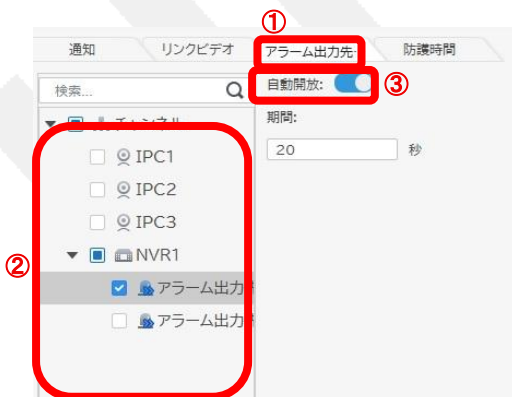
②左ペインから、右上のビューに表示したいチャンネルをウィンドウ毎にドラッグします。



項目	設定
デバイス名	チャンネル名。
プリセットポイント	PTZのプリセット番号が設定できます。
ストリームの切替	メイン/サブストリームを設定できます。
動画の自動再生	検知と連動してこの画面がポップアップで表示されます。
期間	ポップアップで画面表示される時間(秒)。
レコード操作	映像を録画します。
操作	クリックすると、この行が削除されます。

8.1.6. イベント連携④

デバイスの検知と連携して指定の機器からアラーム出力を行います。



①「アラーム出力」をクリックし、以下の画面を表示します。

②アラーム出力させたいデバイスとその出力先を選択します。

③「自動開放」をクリックします

※アラーム出力を実装した機器でないと連携できないので注意が必要です。

8.1.7. イベント連携⑤

「防護時間タブ」をクリックし、以下の画面が表示されます。
デバイスと連携するスケジュールを設定します。

通知	リンクビデオ	アラーム出力先...	防護時間																						
(⇒) 通関プランU	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
(⇒) 日曜日																									⚙
(⇒) 月曜日																									⚙
(⇒) 火曜日																									⚙
(⇒) 水曜日																									⚙
(⇒) 木曜日																									⚙
(⇒) 金曜日																									⚙
(⇒) 土曜日																									⚙

8.1.8. イベント連携⑥

全ての設定が終了したら、画面左下の「保存」をクリックします。

コピー先 保存

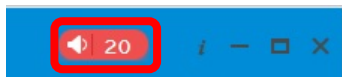
8.2. イベント連携

8.1. で設定したイベントが発生した場合の動きについて記載します。

8.2.1. イベントセンターでのカウント

イベントが発生すると、画面右上のカウントが増えます。

イベントはイベントセンターで確認待ちの状態となり、未確認のイベント数がここに表示されます。



※  をクリックするとアラーム音が消音となり、もう一度クリックすると音声が出力されます。

8.2.2. アイコン点滅

「通知」→「マップで点滅」を設定していると、検知後 E-MAP 上のカメラアイコンが点滅します。



8.2.3. メール送信

「通知」→「メール送信」を設定していると、検知後にメールが送信されます。



8.2.4. 詳細ポップアップ

「通知」→「詳細ポップアップ」を設定していると、検知後に以下の画面が表示されます。



①処理結果

「処理済み」にして「確定」をクリックすると、イベントセンターで表示されなくなります。

②処理注釈

確定する時に入れるメモです。ログにも記録されます。

③リアル

ライブ映像が表示されます。

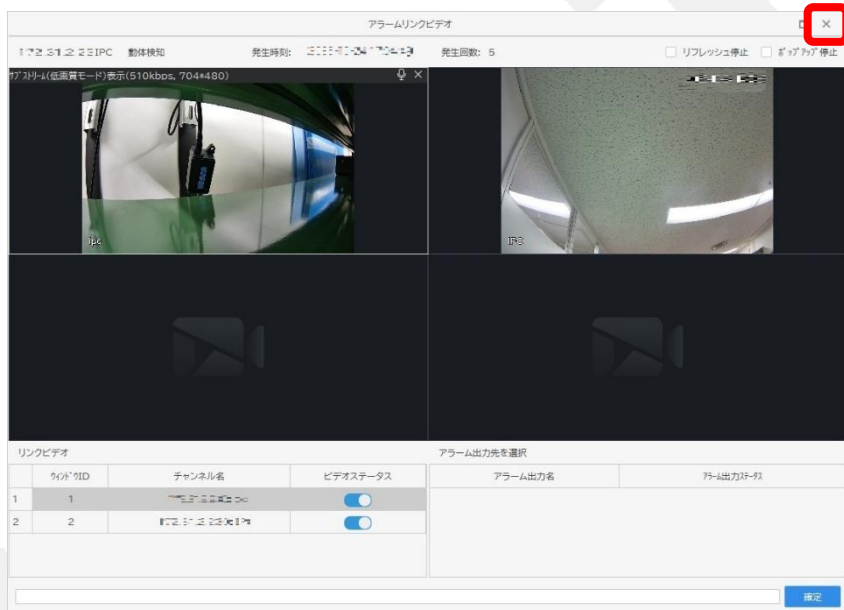
④確定

画面を終了します。

8.2.5. リンクビデオ

「リンクビデオ」を設定していると、以下の画面が表示されます。

ビュー内の映像は指定時間で終了しますが、この画面は右上の「×」をクリックするまで表示されます。



8.3. イベントセンター

8.1. で設定したイベントの確認を行います。ここで「処理済み」とするまで履歴は表示されます。「処理済み」とした場合、ここに表示されなくなりますが、ログからイベントの履歴を確認できます。

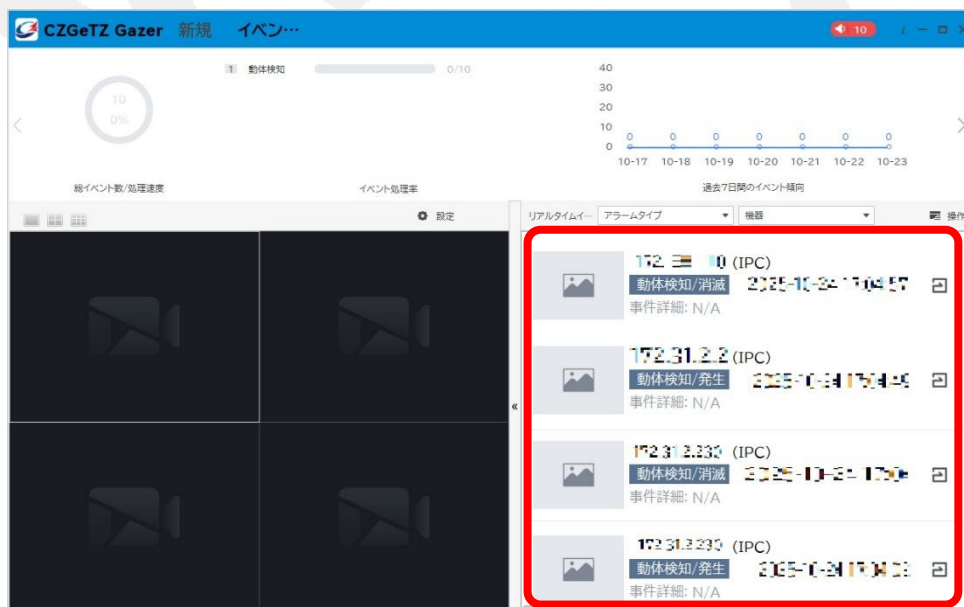
8.3.1. メニュー表示

メインメニューから、右上の「」をクリックします。



8.3.2. イベント処理①

イベントをダブルクリックします。



※一括処理したい場合



① 「操作」をクリックします。

② 処理するイベントを選択します。

③ 「処理」をクリックします。

8.3.3. イベント処理②

- ①「処理済み」にチェックを入れます。
- ②追加情報があれば「備考」に追記します。
- ③「確定」をクリックします。

処理

① 処理結果: ☐ 処理済み ☒ 未処理

ハンドラー: * admin

② 備考:

③ 確定 キャンセル

8.3.4. イベント処理③

イベントセンターから、「処理済み」とされたイベントが消去されます。
消去されたイベントは、ログから確認できます。

9. アカウント

ユーザー情報の登録、編集、削除をします。

9.1. メニュー表示

メインメニューの「アカウント」をクリックします。



9.2. ロール追加

グループを追加します。

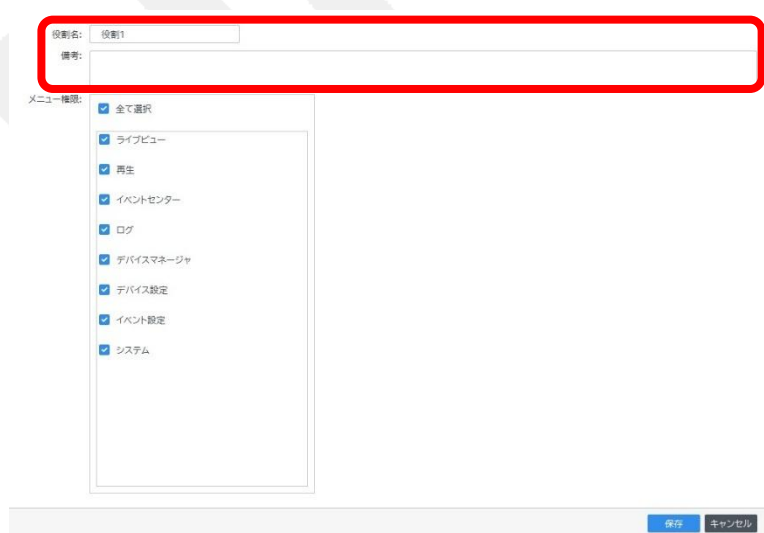
9.2.1. ロール追加①

「」をクリックします。



9.2.2. ロール追加②

「役割名」、「備考」を入力します。



9.2.3. ロール追加③

与えたい権限にはチェックを入れ、与えたくない権限はチェックを外します。

- ☒ ライブビュー
- ☒ 再生
- ☒ イベントセンター
- ☒ ログ
- ☒ デバイスマネージャ
- ☒ デバイス設定
- ☒ イベント設定
- ☒ システム

名称	機能
ライブビュー	チェックを外すとライブ映像を確認することができなくなります。
再生	チェックを外すと録画映像を確認することができなくなります。
イベントセンター	チェックを外すと発生したイベントを確認することができなくなります。
ログ	チェックを外すとログを確認することができなくなります。
デバイスマネージャ	チェックを外すとデバイスマネージャを確認することができなくなります。
デバイス設定	チェックを外すとデバイス設定を確認することができなくなります。
イベント設定	チェックを外すとイベント設定を確認することができなくなります。
システム	チェックを外すとシステム設定を確認することができなくなります。

※デバイス設定の権限を付与する際は、デバイスマネージャの権限も同時に付与する必要があります。

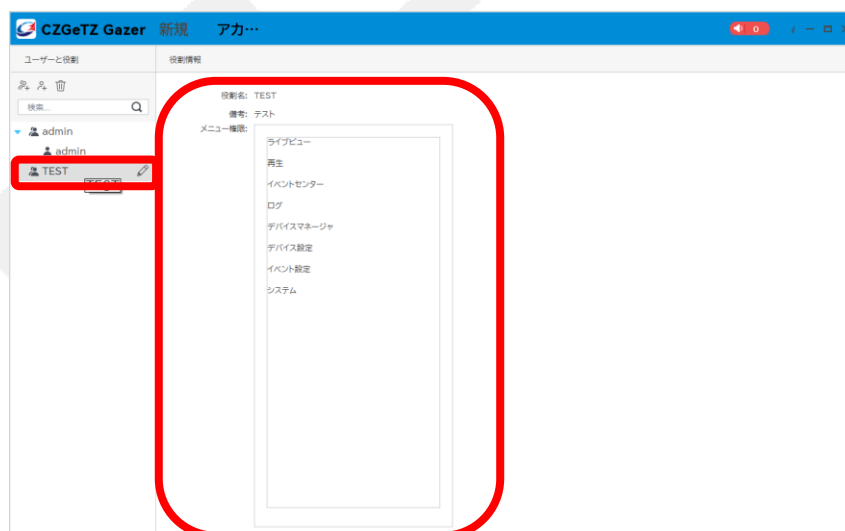
9.2.4. ロール追加④

画面右下の「保存」をクリックします。



9.2.5. ロール追加⑤

ロールが追加されます。



9.3. ユーザー追加

ユーザーを追加します。

9.3.1. ユーザー追加①

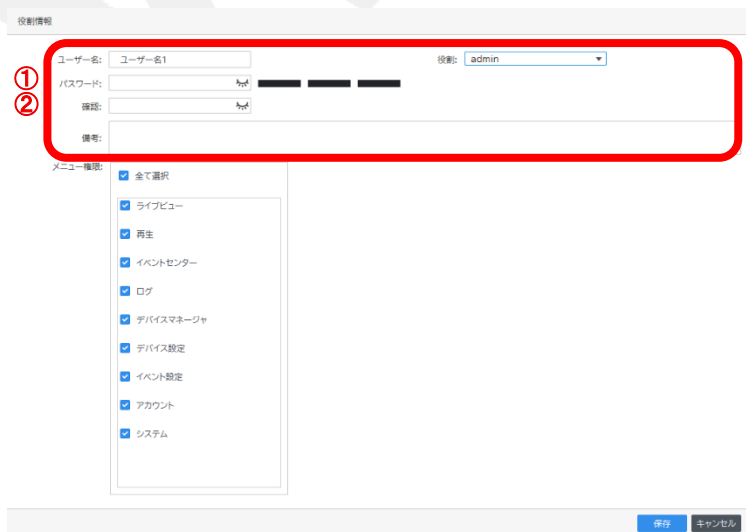
「」をクリックします。



9.3.2. ユーザー追加②

①「ユーザー名」、「パスワード」、「確認」、「備考」を入力します。

②役割を選択します。



9.3.3. ユーザー追加③

与えたい権限にはチェックを入れ、与えたくない権限はチェックを外します。

- ☒ ライブビュー
- ☒ 再生
- ☒ イベントセンター
- ☒ ログ
- ☒ デバイスマネージャ
- ☒ デバイス設定
- ☒ イベント設定
- ☒ アカウント
- ☒ システム

名称	機能
ライブビュー	チェックを外すとライブ映像を確認することができなくなります。
再生	チェックを外すと録画映像を確認することができなくなります。
イベントセンター	チェックを外すと発生したイベントを確認することができなくなります。
ログ	チェックを外すとログを確認することができなくなります。
デバイスマネージャ	チェックを外すとデバイスマネージャを確認することができなくなります。
デバイス設定	チェックを外すとデバイス設定を確認することができなくなります。
イベント設定	チェックを外すとイベント設定を確認することができなくなります。
アカウント	チェックを外すとアカウント設定を確認することができなくなります。
システム	チェックを外すとシステム設定を確認することができなくなります。

※デバイス設定の権限を付与する際は、デバイスマネージャの権限も同時に付与する必要があります。

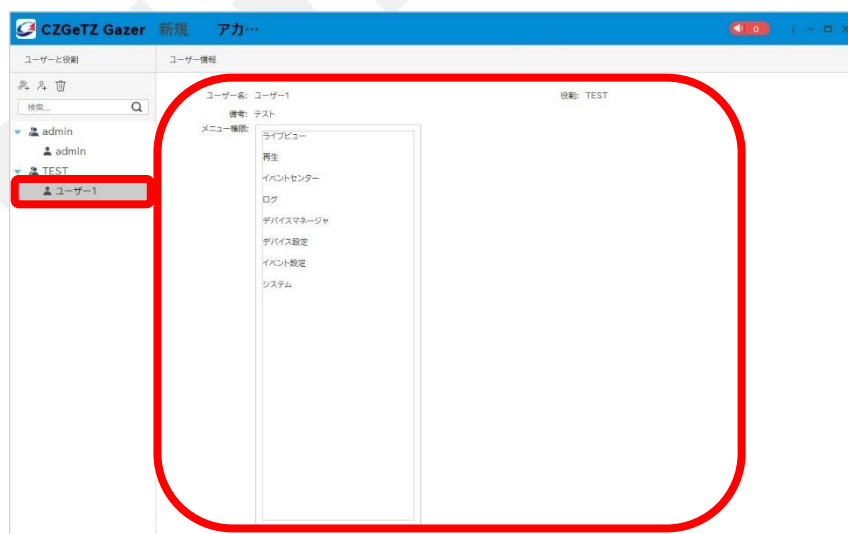
9.3.4. ユーザー追加④

画面右下の「保存」をクリックします。



9.3.5. ユーザー追加⑤

ユーザーが追加されます。



9.4. ロール、ユーザーの編集

ロール、ユーザーを編集します。

※本章では、ユーザーの編集を行います。

9.4.1. ユーザー編集①

編集したいユーザーにカーソルを合わせ、「」をクリックします。



9.4.2. ユーザー編集②

編集したい項目を編集します。



9.4.3. ユーザー編集③

「保存」をクリックします。



9.5. ユーザーと役割の削除

ロール、ユーザーを削除します。

※本章では、ユーザーの削除を行います。

9.5.1. ユーザー削除①

①削除したいユーザーを選択します。

②「」をクリックします。



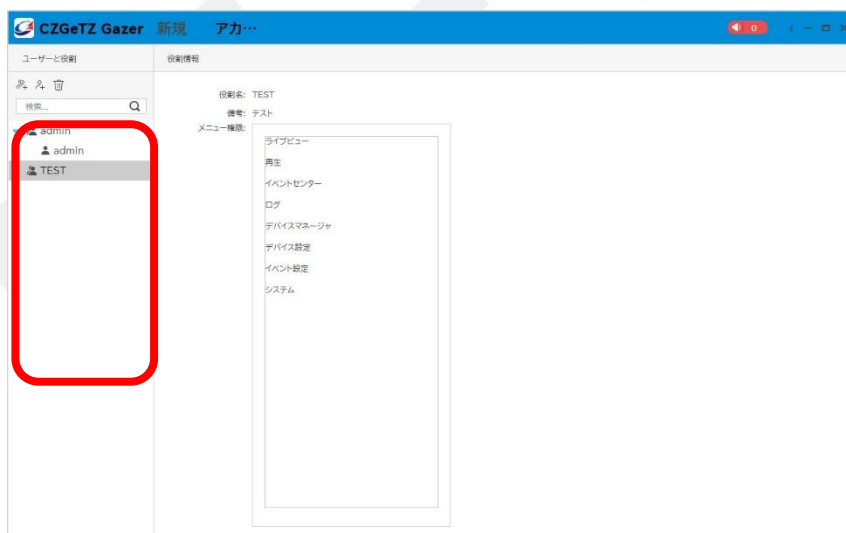
9.5.2. ユーザー削除②

「OK」をクリックします。



9.5.3. ユーザー削除③

削除が完了します。



10. ユーザー切り替え

アカウントの切り替えを行います。

10.1. ユーザー切り替え

10.1.1. ユーザー切り替え①

メインメニューから「ユーザー切り替え」をクリックします。



10.1.2. ユーザー切り替え②

「はい」をクリックします。

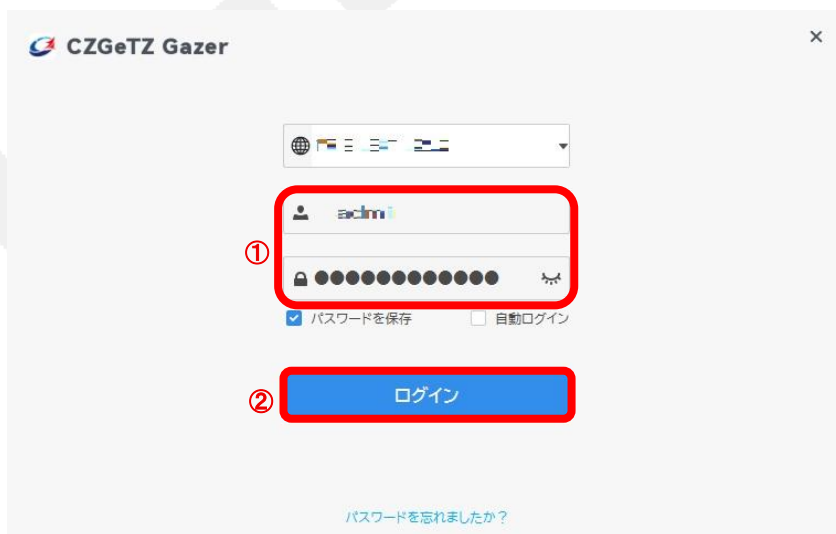


10.1.3. ユーザー切り替え③

ログイン画面が表示されます。

①切り替えたいアカウントのユーザー名、パスワードを入力します。

②「ログイン」をクリックします。



10.1.4. ユーザー切り替え④

メインメニューが表示され、ユーザーの切り替えが完了します。

11. ログ

アプリケーション及びデバイスのログを参照します。

11.1. ログ表示

11.1.1. ログ表示①

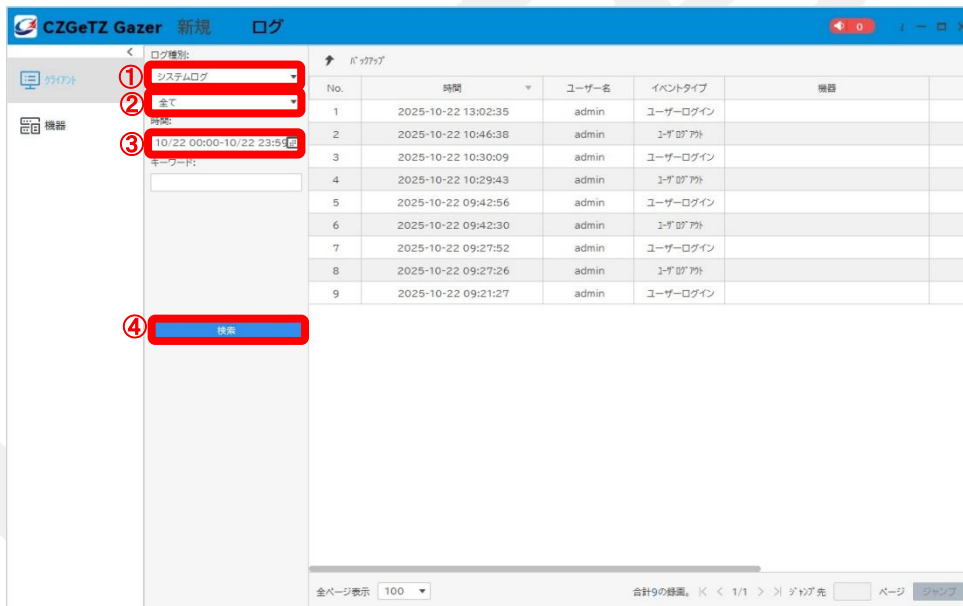
メインメニューから「ログ」をクリックします。



11.1.2. ログ表示②

アプリケーションの起動や停止のログを表示します。

- ①「ログ種別」から「システムログ」を選択します。
- ②「イベントタイプ」を選択します。
- ③対象の日付を選択します。
- ④「検索」をクリックします。



※検索期間は1日です。

11.1.3. ログ表示③

デバイスに実行した操作ログを表示します

- ①「ログ種別」から「操作ログ」を選択します。
- ②「イベントタイプ」を選択します。
- ③対象の日付を選択します。
- ④「検索」をクリックします。

The screenshot shows the 'CZGeTZ Gazer 新規 ログ' window. On the left sidebar, 'ログ' is selected. The main area has a filter panel on the left with the following settings: 'ログ種別' (Log Type) set to '操作ログ' (Operation Log), 'イベントタイプ' (Event Type) set to '全て' (All), and '時間' (Time) set to '10/23 00:00-10/23 23:59'. A 'キーワード' (Keyword) input field is empty. At the bottom of the filter panel is a red '検索' (Search) button. The main table has columns: No., 時間 (Time), ユーザー名 (User Name), イベントタイプ (Event Type), and 機器 (Device). The bottom status bar shows '全ページ表示 100' and '合計0の検索'.

※検索期間は1日です。

11.1.4. ログ表示④

アプリケーションと連携したデバイスのイベントのログを表示します。

この操作だけは機器の表示と選択が必要です。

- ①「ログ種別」から「アラーム」を選択します。
- ②「イベントタイプ」を選択します。
- ③対象の日付を選択します。
- ④機器を選択します。
- ⑤「検索」をクリックします。

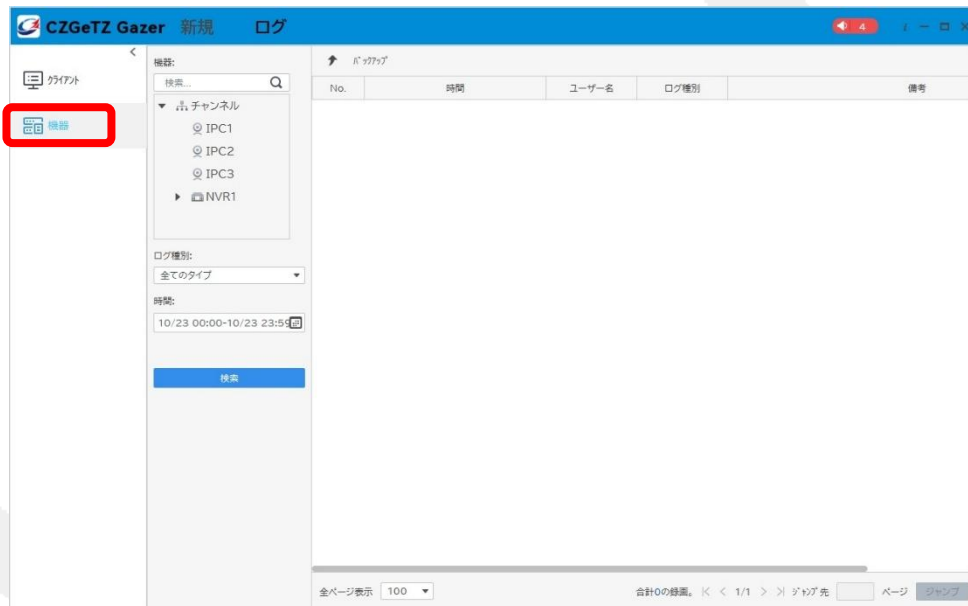
The screenshot shows the 'CZGeTZ Gazer 新規 ログ' window. On the left sidebar, 'ログ' is selected. The main area has a filter panel on the left with the following settings: 'ログ種別' (Log Type) set to 'アラーム' (Alarm), 'イベントタイプ' (Event Type) set to '全て' (All), '時間' (Time) set to '10/23 00:00-10/23 23:59', and '機器' (Device) set to 'なし' (None). There are also filters for '通知メッセージ' (Notification Message) and 'イベント状態' (Event Status), both set to '全て' (All). At the bottom of the filter panel is a red '検索' (Search) button. The main table has columns: No., 時間 (Time), アラームタイプ (Alarm Type), イベントタイプ (Event Type), 機器 (Device), デバイス名 (Device Name), and 処理済 (Processed). The bottom status bar shows '全ページ表示 100' and '合計0の検索'.

※検索期間は1日です。

11.2. デバイスログ表示

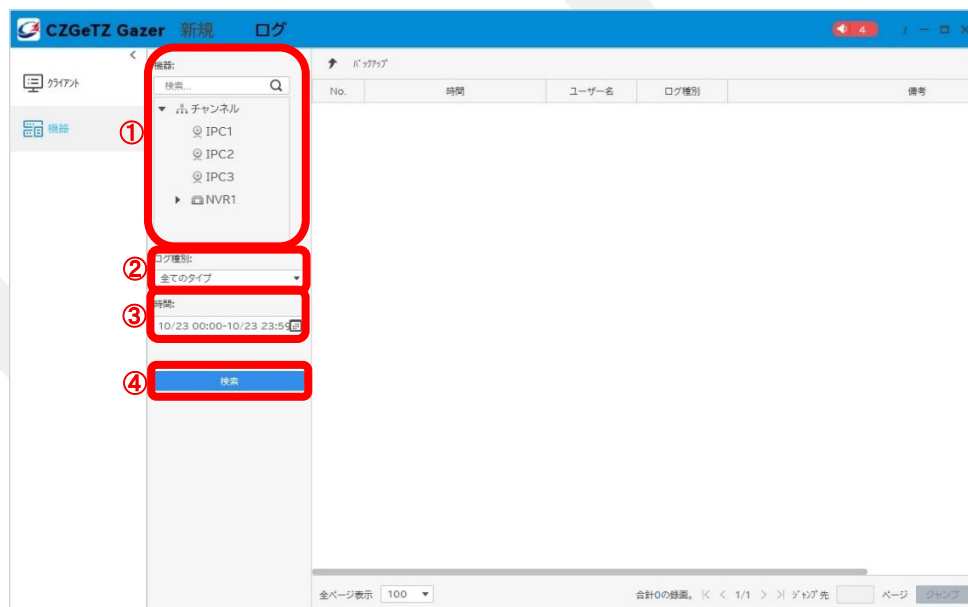
11.2.1. デバイスログ表示①

「機器」をクリックします。



11.2.2. デバイスログ表示②

- ① デバイスを選択します。
- ② ログ種別を選択します。
- ③ 日付指定します。
- ④ 検索をクリックします。

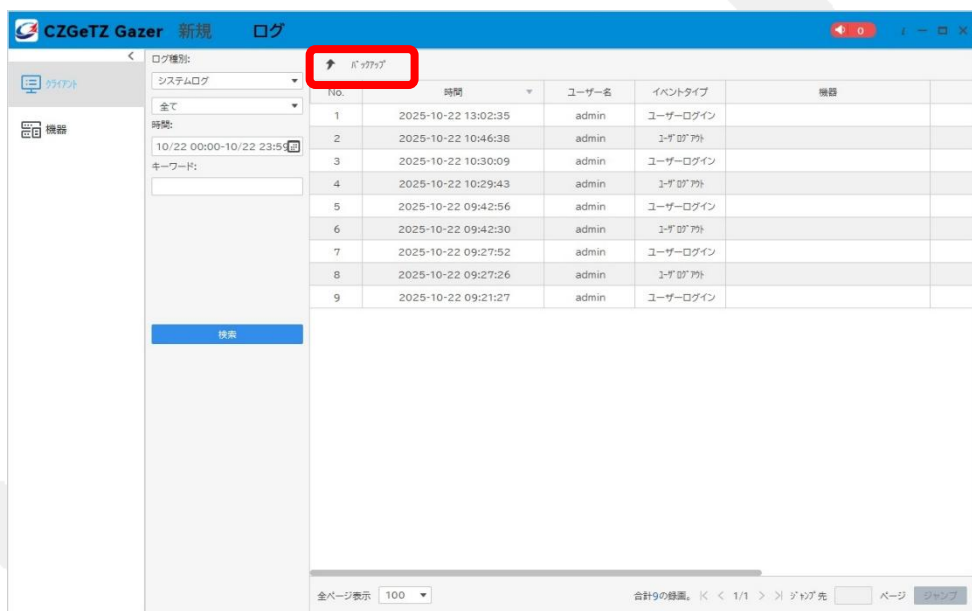


※デバイスはオンラインでないと、ログ表示はできません。

11.3. 共通：ログ出力

11.3.1. ログ出力

各画面で「バックアップ」をクリックすると、表示したログをエクスポートできます。
Excel をインストールしていると、Excel 形式で出力、Excel が無い場合は XML 形式で出力されます。



12. マニュアル

CZGeTZ Gazer のマニュアルを表示します。

12.1. マニュアル

12.1.1. マニュアル表示①

メインメニューから「ヘルプマニュアル」をクリックします。



12.1.2. マニュアル表示②

CZGeTZ Gazer のマニュアルが表示されます。

13. その他操作

13.1. パスワードリセット

アプリケーションの管理者パスワードリセット手順となります。

13.1.1. パスワードリセット①

「パスワードを忘れましたか？」をクリックします。



13.1.2. パスワードリセット②

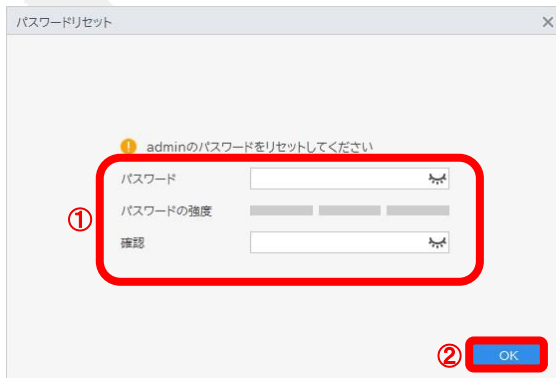
- ①インストール時に設定したセキュリティ質問の答えを入力します。
- ②「次へ」をクリックします。



※セキュリティ質問の答えが一致しない場合、パスワードのリセットは不可となります。

13.1.3. パスワードリセット③

- ①再設定するパスワードを、「パスワード」「確認」に入力します。
- ②「OK」をクリックし、パスワードリセットを終了します。



13.2. アンインストール

13.2.1. アンインストール①

- ①スタート画面を開き、画面上部の検索窓で「設定」と入力します。
- ②「設定」をクリックします。



13.2.2. アンインストール②

- ①画面左部より「アプリ」をクリックします。
- ②「インストールされているアプリ」をクリックします。



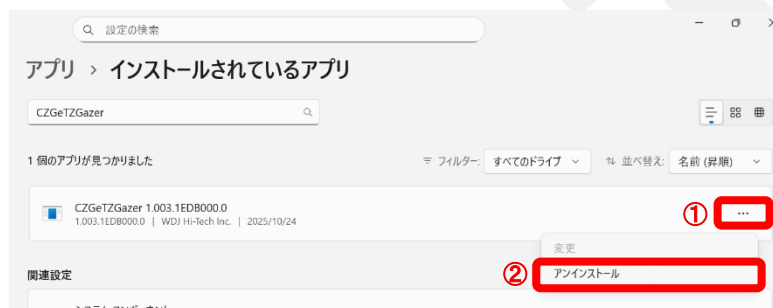
13.2.3. アンインストール③

画面上部の検索窓に「CZGeTZ Gazer」と入力します。



13.2.4. アンインストール④

- ①「…」をクリックします。
- ②「アンインストール」をクリックします。



13.2.5. アンインストール⑤

「アンインストール」をクリックします。



13.2.6. アンインストール

ユーザーアカウント制御画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

13.2.7. アンインストール③

「Next」をクリックすると、アンインストールが開始されます。



以上